

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-374	2008/12/31	2012/06/04	ガスこんろ (都市ガス用、卓上型)	(火災)当該製品を使用中に壁が焦げた。	火災		秋田県	○使用者は、当該製品を点火した後、テレビを見るためにその場を離れていた。 ○当該製品の右側こんろ上に、鍋ぶた(直径約20cm)が逆さまに置かれており、汁受け皿には鍋ぶたのつまみとみられる樹脂のかげらが散在していた。 ○当該製品の台の上には、溶融した樹脂が広がっていた。 ○当該製品内部の点滅器や器具栓スピンドルが溶融し、 ○リングが消失していた。 ●事故原因は、使用者が、こんろの五徳上に鍋ぶたを逆さまにして当該製品を点火したため、鍋ぶたの樹脂製つまみが炎により破壊され、その一部がこんろ台に落下して周辺の可燃物が延焼し、当該製品の器具栓スピンドルのリング等を溶融したことでガスが漏れだし、漏れ出したガスに引火して火災に至ったものと推定される。	
B1G08-373	2008/07/01	2012/06/04	ガス給湯付ふろがま(高温水供給式)(都市ガス用、屋外式)	(重傷1名)当該製品のリモコンで差し湯用のスイッチを押して浴槽にお湯を入れたところ、高温の湯がはられ、そこに幼児を抱え上げて入れたため、火傷を負った。		重傷1名	東京都	○当該製品は、追い焚き用スイッチを1秒以上長押ししないと追い焚きされない機構であった。 ○追い焚き機構は、高温を差し湯して行われ、約90℃の湯が約100リットル出湯する仕様であった。 ○使用者は、浴槽の温度を確認せずに、幼児を湯船に入れた。 ○当該製品の点火操作、湯の流れ等に不具合はなく、正常であった。 ●事故原因は、使用者が湯をはる際に、誤って差し湯の追い焚きをしてしまい、浴槽に高温の湯が溜められて、浴槽の温度を確認せずに幼児を浴槽内に抱えて入れたため、事故に至ったものと推定される。	
B1G08-372	2008/03/04	2012/06/04	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	(重傷1名)浴槽に湯をはる際に、スイッチを押し間違えて追い焚き用の高温給湯をしたため、湯温を確認せずに入った子供が火傷を負った。		重傷1名	兵庫県	○使用者は、湯をはる際に当該製品の追い焚きスイッチを押ししまった。また、浴室リモコンより熱湯が出る旨、音声警告を聞いていた。 ○浴槽の湯温を確認せずに入浴し、下半身全体に火傷を負った。 ○追い焚きは、誤操作防止のため、追い焚きスイッチを1秒以上長押しして作動する機構であった。 ○水位が2～3cm以上の時、出湯停止操作を行わないと約100リットル出湯する仕様である。 ○当該製品は、動作に問題が認められず、ふろアダプターの動作も正常であった。 ●事故原因は、浴槽の水位が2～3cm以上残った状態で、使用者が誤って追い焚き用の高温出湯スイッチを押したため、高温の湯が張られ、当該製品の音声警告を聞いていたが、湯温を確認せずに浴槽内に入ったものと推定される。	
B1G08-371	2008/04/24	2012/06/04	ガス栓(LPガス用)	(火災)点火動作を繰り返したところ、ガスこんろの後方から出火した。	火災		静岡県	○当該製品は、2口のヒューズ付きガス栓であり、全体的に焼損していた。右側のゴム管口は未接続でキャップが無く、栓が半開きであった。 ○左側のゴム管口には、ガスこんろと接続しているガスホースがつながっていた痕跡が認められるが、栓は閉じられていた。 ●事故原因は、ガスこんろを使用するため、当該製品のキャップされていない未接続側のつまみを半開きにしたために、当該製品のヒューズが働かず、ガスが漏れ、ガスこんろ点火時の火花などが漏れたガスに引火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G08-370	2008/08/20	2012/06/04	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	異臭がしたため確認したところ、当該機器が焼損していた。	火災		東京都	○当該製品は、ガス機器の設置基準に適合しない換気不良となる狭い空間に設置されていた。また、風雨にさらされない場所に設置されていたが、給気口に錆が生じていた。 ○機器内部の電源トランスに焼損が認められ、周辺には埃も認められた。 ○電源トランス内部には、放電痕が認められた。 ●事故原因は、当該製品は排気が給気される閉塞的な場所に設置されたために長期使用(約20年)の間に湿った排気と埃を吸い込み、給気口付近にあった電源トランス端子部に湿った埃が付着してトラッキング現象が生じ火災に至ったものと推定される。(2010/12/03公表内容)	
B1G08-369	2008/07/26	2012/06/04	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	当該製品を使用中にその場を離れ、戻ってきたところ、煙が充満していた。当該製品の内部でガスが漏洩した可能性がある。	火災		東京都	○使用者は、当該製品で調理中に長時間その場を離れていた。 ○当該製品は、下に新聞紙が敷かれており、背面の壁は、ベニヤ板であった。 ○当該製品は、全体が焼損しているが、グリル内部で著しい焼損が認められた。 ○当該製品にはグリル消し忘れ消火機能は搭載されていなかった。 ●事故原因は、使用者がグリルの火をつけたままその場を離れたため、グリル内が過熱されて出火し、近くの可燃物に引火して火災に至ったものと推定される。(2010/12/03公表内容)	
B1G08-368	2008/07/06	2012/06/04	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	当該機器付近から出火して、こんろ、ゴム管、シンク、網戸などの一部を焼損し、家人1名が軽傷を負った。	火災	軽傷1名	大阪府	○使用者は当該製品の五徳の上に焼き網を載せ、さらにその上にやかんを置いてお湯を沸かしていた。 ○当該製品の横にあるキャビネットの焼損が激しかった。 ●事故原因は、使用者の事情により1年前から当該製品に焼き網を載せてお湯を沸かしていたために、焼き網に沿って炎や熱があふれ、当該製品の横にあった木製キャビネットが加熱され続けて炭化し、低温着火して火災に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書には焼き網を使わない旨警告表記されていた。(2010/12/03公表内容)	

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-367	2008/07/04	2012/06/04	ガス炊飯器(LPガス用)	当該機器付近から出火する火災が発生し、母屋が全焼した。	火災		熊本県	○当該製品の器具栓とガスコード接続部との周辺に著しい焼損が認められた。 ○器具栓が、上方に変形した状態で焼損していた。 ○当該製品を載せていた置台は、器具栓に接続したガスコードが縁に乗り上げる形状及び寸法であった。 ●事故原因は、使用者の設置・施工不良により、当該製品に接続していたガスコードが置台の縁に乗り上げた状態で長期間設置されていたため、迅速継手の樹脂部品が損傷してガスが漏れ、当該製品使用時の炎が引火して火災に至ったものと推定される。 なお、取扱説明書にはガスコードに無理な曲げや引張力等を加えると損傷しガス漏れの原因になる旨記載があった。(2010/12/03公表内容)	
B1G08-366	2008/08/17	2010/11/5	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	当該製品で調理中に火災が発生した。調理油過熱防止装置が搭載されていないこんろで調理中に目を離したため出火した可能性があるが、現在、原因を調査中。	火災		愛知県	調査の結果、当該製品には異常は見られず、当該製品で調理中、目を離していたため、油が過熱し発火したものと判断した。	
B1G08-365	2008/09/15	2010/11/5	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	5分程度シャワーを使用していたときに室内で爆発が発生し、居室と台所の窓ガラスが吹き飛んだ。現在、原因を調査中。	火災	軽症1名	東京都	調査の結果、当該機器にガス漏れ等異常は認められなかった。隣室でスプレー缶を多量に使用していたためLPGに風呂釜の火が引火し、爆発したものと推定される。	
B1G08-364	2008/09/02	2010/11/5	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	口火の点火操作を2~3回繰り返したところ異常着火した。現在、原因を調査中。	火災		東京都	調査の結果、当該機器には異常はなく、ガス漏れも認められなかった。被害の程度から、都市ガスでなく、近くで使用したスプレー缶に含まれる比重の重いLPG等を含む可燃性ガスによるものと推定される。	
B1G08-363	2008/09/01	2010/11/5	ガス栓(都市ガス用)	ガスこんろで調理中に異音が生じ、炎が上がった。ガス栓の誤開放による事故の可能性はあるが、現在、原因を調査中。	火災		北海道	調査の結果、誤って未接続のガス栓を開放し、ガスが漏洩していたところに、こんろの火が引火したものと判断した。	
B1G08-362	2008/12/23	2010/11/5	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、BF式)	浴槽と連結ゴム及び浴槽の一部が焼損する火災が発生した。	連結ゴム及び浴槽の一部焼損	なし	山口県	調査の結果、 ○熱交換器に大量の酸化銅が付着していたことから何度も空焚きされていたと考えられること、 ○器具内端子台が修理業者等によって誤結線されていたため、空だき防止装置が作動しない状態であったこと、等から、 ●使用者が誤って空焚きし、誤結線により空だき防止装置が作動しなかったため火災に至ったものと推定。なお、当該製品の修理業者は不明。	
B1G08-361	2008/09/21	2010/11/5	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	・グリル使用後に暫くするとガスこんろの中から炎が見えた。 ・グリル使用後に火を消し忘れたため庫内が過熱され、庫内に付着していた油脂等に引火し、ガスコンロ本体内部に燃え移り火災に至ったものと推定。	器具一部焼損	なし	宮城県	調査の結果、 ○グリル庫内に多量の煤が付着していたこと ○グリル庫内の水が残っていなかったこと ○パイロットバーナー口付近のコード被覆が焼損していることから、 ●グリル使用後に火を消し忘れたため庫内が過熱され、庫内に付着していた油脂等に引火し、ガスコンロ本体内部に燃え移り火災に至ったものと推定。	
A2G08-360	2008/12/	2009/04/28	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、屋外式)	勝手に器具が湯張り動作を初め、リモコン運転SWを押しても止まらず、湯張り動作完了した後、停止した。	無	無	埼玉県		
B1G08-359	2008/10/09	2010/06/18	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	当該機器のグリル使用中にその場を離れて、当該機器の後面の壁が燃えた。消防は、グリル使用中にその場を離れた不注意と、当該機器と後方の壁(可燃性)との離隔距離が十分に取られていなかったことが原因として調査終了。	機器後方の壁を焼損	無	和歌山県	調査の結果、当該製品と壁との距離が5cmと接近していたため、壁の木材が炭化して、発火したものと判断した。なお、取扱説明書では、不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた場合は15cm以上離す旨、警告記載されている。	
B1G08-358	2008/12/25	2010/06/18	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	こんろ使用中、その場を離れた時に異音が生じ、見に行くとガス元栓付近から火が出ており、ゴムホースの一部が焦っていた。当該製品に焼損はみられずガス漏れも認められなかった。当該製品が接続されていたガス元栓から漏れたガスに、ガスこんろの火が引火したものと判断された。	ゴムホースの一部	無し	長崎県	調査の結果、当該製品に焼損はみられず、ガス漏れも認められなかった。当該製品が接続されていたガス元栓から漏れたガスに、ガスこんろの火が引火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-357	2008/04/27	2010/06/18	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, CF式)	ガス供給事業者からの情報では、集合住宅でベランダに面した簡易的なシャワー室に当該機器を設置し、使用中にCO中毒と見られる症状となった。排気筒設備内に鳥の巣があり排気筒の通路を閉塞していたとのこと。また、ガス供給事業者から提供された現場写真からは、当該機器の設置と排気筒設備の設置において、以下の項目が法令・基準等に適合しないと推測される。 ①当該機器(CF式湯沸器)をシャワー室に設置している ②排気筒の立上りがない ③排気筒の先端が風圧帯内にあり、規定の排気トップが設備されていなかった。 消防は排気筒設備の機能が不十分であったとの見解で調査終了した。	無	1名CO中毒	京都府	調査の結果、当該製品は本来設置すべきではないシャワー室に設置され、排気筒も高さ不足等、適切に設置されていなかった。また、当該製品の排気筒にはトップフードが取り付けられておらず、排気筒内部に鳥の巣があった。これにより、排気が塞がれ、シャワー室に一酸化炭素が充満したものと判断した。当該製品は、1985年製で排気筒の施工者は不明であった。	
B1G08-356	2008/11/23	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	火災が発生した。当該製品近くでガス栓の誤開放により漏洩したガスへ着火した可能性がある。 調査の結果、当該製品は正常に動作し、ガス経路のガス漏れもなかった。使用者が未使用ガス栓を誤って開けたものと判断された。	ガス栓とゴムホース焼損	無	岡山県	調査の結果、当該製品は正常に動作し、ガス経路のガス漏れもなかった。使用者が未使用ガス栓を誤って開けたものと判断された。	
B1G08-355	2008/12/29	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該製品で調理後にグリル排気口から炎が上がった。 調査の結果、当該製品のグリル受け皿に多量の油脂や堆積物がある状態で使用されたことから、油脂等が発火したものと判断された。	無	無	鹿児島県	調査の結果、当該製品のグリル受け皿に多量の油脂や堆積物がある状態で使用されたことから、油脂等が発火したものと判断した。	
B1G08-354	2008/12/03	2010/02/12	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, 開放式)	当該製品を使用中に製品の下方の配管保温材に着火した。 調査の結果、当該製品にガス漏れはなく、バーナーの点火動作及び立ち消え安全装置にも異常は認められず、製品に起因する事故ではないと判断された。	配管保温材の一部を焼損	無	佐賀県	調査の結果、当該製品にガス漏れはなく、バーナーの点火動作及び立ち消え安全装置にも異常は認められなかった。	
B1G08-353	2008/09/10	2010/02/12	ガス炊飯器(都市ガス用)	当該製品を使用中、当該製品後ろの上方に設置されていたキッチンペーパーを焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品に異常は認められず、当該製品の各部にも焼損、熱変形、ガスの漏洩や着火不良等の痕跡はなく、製品に起因する事故ではないと判断された。	壁の一部を焼損	無	大阪府	調査の結果、当該製品に異常は認められず、当該製品の各部にも焼損、熱変形、ガスの漏洩や着火不良等の痕跡はなかった。	
B1G08-352	2008/09/05	2010/02/12	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	当該製品を使用中に設置場所付近から発火した。 調査の結果、施工業者が、取扱説明書で禁止されている、当該製品に適合しない他社製のゴム管口を使用したため、ゴム管口接続部にすき間が生じてガス漏れが発生し、製品使用時の火が引火したものと判断された。	室内一部焼損	無	福岡県	調査の結果、施工業者が、取扱説明書で禁止されている、当該製品に適合しない他社製のゴム管口を使用したため、ゴム管口接続部にすき間が生じてガス漏れが発生し、製品使用時の火が引火したものと判断した。	
B1G08-351	2008/07/31	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該製品に点火したところ、異常着火し、1名が火傷を負った。調査の結果、使用者が当該製品の器具栓に接続しているガスゴム管を外して製品及びその周辺を清掃した後、ガスゴム管を適切に接続しなかったため、接続部から漏れたガスに着火したものと判断された。	台所壁面約2mを焼損	軽傷1名(火傷)	徳島県	調査の結果、使用者が当該製品の器具栓に接続しているガスゴム管を外して製品及びその周辺を清掃した後、ガスゴム管を適切に接続しなかったため、接続部から漏れたガスに着火したものと判断した。	
B1G08-350	2008/05/04	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該製品から出火する火災が発生し、壁が焼損した。 調査の結果、当該グリルを使用して魚を焼いていて、消し忘れて外出したために火災に至ったものと判断された。	台所壁面約2mを焼損	無	秋田県	調査の結果、当該製品のグリルを使用して魚を焼いていて、消し忘れて外出したために火災に至ったものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-349	2008/12/22	2010/02/12	ガス湯沸器(都市ガス用、CF式)	当該機器を使用したところ気分が悪くなり、2名が病院に搬送された。室内にはマイコンメーター連動型の複合型警報器が設置されていたが、電源コンセントは外されていた。当該機器の排気方式はフランジドフルー方式になっており、共用ダクトに接続されていると推定されるが、当該機器の排気筒がすぐ天井の隠蔽部に入っており詳細は未確認。共用ダクトの先端にはダクトファンが設置されている。ダクトファンはタイマーで作動させており、当該機器を使用時はダクトファンは作動していなかったと推測される。燃焼試験をすると室内のレンジフードを作動しない状況では、排気の溢れは無いものの、レンジフードを作動させると、排気ガスが室内に溢れることが確認された事から、レンジフード用の給気口が十分確保されていないと推測される。消防は、排気設備不良が原因として調査終了。	無	軽傷2名 (CO中毒)	東京都	調査の結果、当該製品の排気CO濃度は正常範囲内であり、燃焼状態にも異常は認められなかった。	
B1G08-348	2008/12/14	2010/02/12	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	台所内のガスこんろ付近が火元とみられる火災が発生した。消防は、消し忘れが原因と推定し、調査終了。	家屋全焼	死亡1名	北海道	調査の結果、当該製品にフライパンをかけたまま、その場を離れていたため、フライパンが過熱し、周囲の可燃物に引火したものと判断した。	
B1G08-347	2008/10/21	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	当該機器のグリルにて魚を調理中、グリルから出火した。消防によると、当該機器のグリル庫内の清掃不備、及びグリル受け皿に水を入れずに魚を焼いていたこともあり、使用者の誤使用が原因として調査終了。	機器棄損	無	京都府	調査の結果、当該製品のグリルを掃除せず、水を入れずに魚を焼いていたために、グリル内の油に引火したものと判断した。	
B1G08-346	2008/11/22	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	当該機器のこんろを点火したつもりが誤ってグリルを点火し、グリル内に付着していた油脂が発火してグリル扉の取手が溶けた。消防によると、グリル内の清掃不備もあり、使用者の不注意が原因との見解で調査終了。	機器棄損	無	埼玉県	調査の結果、間違って空のグリルに点火したため、グリルが空焚き状態になり、内部に付着していた多量の油脂に着火したものと判断した。	
B1G08-345	2008/09/29	2010/02/12	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	使用者が味噌汁を温めようと、当該機器の調理油過熱防止装置が付いていない側のこんろに火をつけたまま屋裏に間に出火した。消防は、使用者の不注意が原因との見解で調査終了。	家屋全焼	無	群馬県	調査の結果、当該製品の過熱防止装置が付いていない側のバーナーに鍋をかけたまま屋裏をしてしまったため、鍋が過熱し、周囲の可燃物に引火したものと判断した。	
B1G08-344	2008/06/20	2010/02/12	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	使用者の清掃不備により当該機器こんろ部が点火不良になり、点火操作を繰り返すうちに滞留したガスに使用中であった当該機器のグリルの火が引火して付近の内壁に燃え移った。消防は、使用者の取り扱い不備が原因であり、当該機器には問題はないとの見解で調査終了。	機器周辺を焼損	無	秋田県	調査の結果、当該製品に、ガス漏れや点火装置の異常は認められなかった。使用者が繰り返し点火操作を行ったことにより滞留した未燃ガスに、点火した火が引火したものと判断した。なお、取扱説明書に、点火操作をしても点火しない場合は、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする旨、記載されている。	
B1G08-343	2008/04/25	2010/02/12	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	使用者が当該機器の調理油過熱防止装置のない側のこんろに鍋をかけたまま外出した。消防は、当該機器に不備はなく、使用者の消し忘れが原因として調査終了。	機器周辺を焼損	無	東京都	調査の結果、当該製品の過熱防止装置の付いていない側のこんろを使用して、鍋を火にかけてそのまま外出したために火災に至ったものと判断した。	
B1G08-342	2008/04/28	2010/02/02	ガス機器(その他)(カセットこんろ)	1)テーブルの上でカセットこんろを点火するが、点火しない為、新しいボンベに入れ替えて、再度点火をしたところ、発火しカーテンを焼損した。 2)調査の結果、カセットこんろにボンベを装着する際、ボンベの凹部を適切に合わせず装着して、点火操作を繰り返した為に漏れたガスに気づかず、別のボンベを正常に装着し直して、点火操作を行った為、漏れたガスに引火したものでした。よって、製品に起因する事故ではないと	有	無	東京都	調査の結果、当該製品にカセットボンベの凹部を適切に合わせず装着して点火操作を繰り返したために漏れた液化ガスに気付かず、別のボンベを正常に装着し直して、点火操作をしたため、漏れていた液化ガスが気化したものに引火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-341	2008/02/08	2010/02/02	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	追い焚きの湯が出る浴槽内の部品が、上からの強い外的な付加がかかったため破損し、浴槽が空の状態での追い焚きを行った際、安全装置が働かず、熱湯が浴槽内に供給される状態になっていた。 この状態でリモコンの操作を誤って追い焚き動作をおこなったため、浴槽に高温の湯が溜まり、さらに湯温を確認せずに浴槽に足を入れたため、片足に火傷をおった。	無	重傷1名 (火傷)	愛媛県	調査の結果、追い焚きの湯が出る給湯口のカバーに上からの強い外的な負荷が与えられたためカバーが破損し、浴槽が空の状態での追い焚きを行った際、安全装置が働かず、熱湯が浴槽内に供給される状態になっていた。この状態で、浴槽が空の状態での追い焚きと給湯の動作をしたために高温の湯が溜まり、さらに湯温を確認せずに浴槽に足を入れたものと判断した。なお、給湯機能には問題がなかった。	
B1G08-340	2008/11/14	2010/01/28	ガスふろがま(LPガス用, 屋外式)	浴槽に水を入れ、ふろがまを点火し、しばらくすると壁と屋根の一部が焼損していた。	壁と屋根の一部 焼損	無	千葉県	調査の結果、以前より複数回数の空焚きをし、安全装置が作動する状況を起こしていたため、循環パイプ周辺の壁材が徐々に炭化しており、再度空焚きを起こした際に壁材より低温着火したものと判断した。浴槽は、水漏れする状態で使用されていた。	
B1G08-339	2008/08/20	2010/01/28	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	当該機器を使用中に大きな音が生じ、機器の一部が変形した。機器の排気口に養生シートが被せてあった	機器焼損	無	神奈川県	調査の結果、当該製品に前面カバーの変形以外に異常は認められなかった。外装工事による養生ビニールシートテープで当該製品の排気口が閉塞された状態で使用されたため、燃焼不良となり、溜まった未燃ガスに異常着火したものと判断した。	
B1G08-338	2008/04/21	2010/01/28	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	浴室の排水不良により冠水した状態でシャワーを使用したため、炎があふれ機器内部の水抜きつまみが焼損した。原因は、冠水によりバーナに正常なガス噴出が出来ず、あふれたガスに着火し水抜きつまみが焼損した。	機器焼損	無	東京都	調査の結果、浴室の排水口が詰まっていたため当該製品の下部が冠水し、バーナ部から正常にガスが出ず、製品手前にあふれたガスに着火したものと判断した。なお、当該製品には冠水注意の本体表示が図示されている。	
B1G08-337	2008/09/01	2009/12/22	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	設置した当該製品の試運転時に、点火したところ爆発し、火傷を負った。 調査の結果、施工業者が、当該製品を設置する際に、接続ネジ部を適切に締め付けなかったために、緩みが生じ、ガスが漏れ、爆発したものの。	無	軽傷1名 (火傷)	徳島県	調査の結果、施工業者が、当該製品を設置する際に、接続ネジ部を適切に締め付けなかったために、緩みが生じ、ガスが漏れ、爆発したものと判断した。	
B1G08-336	2008/04/05	2009/12/22	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	当該製品で浴槽にお湯を入れながら、食事をしていたところ、気分が悪くなり家人3名が病院に搬送された。 調査の結果、施工業者によって、屋外専用の当該機器が玄関横にあるチャンバー内に排気口が外に出ない状態で設置され、長期間(20年間)使用されていたため、酸素不足・煤付着で不完全燃焼状態になってCO濃度が高くなった排ガスが壁面隙間から室内に流入したものの。	無	軽傷3名 (CO中毒)	東京都	調査の結果、施工業者によって、屋外専用の当該機器が玄関横にあるチャンバー内に排気口が外に出ない状態で設置され、長期間(20年間)使用されていたため、酸素不足・煤付着で不完全燃焼状態になってCO濃度が高くなった排ガスが壁面隙間から室内に流入したものと判断した。	
B1G08-335	2008/11/25	2009/12/22	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	調理油過熱防止装置がない当該機器にて天ぷらを調理中、会話を気をとられている間に出火した。消防は、取扱不注意が原因との見解で調査終了。	機器周辺 焼損	軽傷1名	長崎県	調査の結果、調理油過熱防止装置が付いていない当該製品(一口こんろ)で天ぷら調理中に、目を離していたため、発火したものと判断した。	
B1G08-334	2008/11/14	2009/12/22	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	調理油過熱防止装置がない当該機器にて天ぷらを調理中に外出し、火災が発生した。消防は、使用者の不注意が原因として調査終了。	不明	死亡1名	福岡県	調査の結果、当該製品に異常は認められず、調理油過熱防止装置の付いてない側のこんろで天ぷら調理中に、火を消し忘れて外出したため、発火したものと判断した。	
B1G08-333	2008/10/18	2009/12/22	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器のグリルにて魚を焼いたまま放置している間に出火し、台所付近を焼損した。消防によると、当該機器は脚4本が付いていない状態で、当該機器の下に油の付着したダンボールが敷いてあったとのことで、使用者の消し忘れ及び、誤使用が原因との見解で調査終了。	台所付近 焼損	無	青森県	調査の結果、当該製品のグリルで調理中に、それを忘れて外出したため、庫内より発火したものと判断した。	
B1G08-332	2008/10/15	2009/12/22	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器にて天ぷら調理中、他の家事をしている間に出火した。消防は、当該機器の調理油過熱防止装置の無いこんろで天ぷら調理中の消し忘れが原因として調査終了。	機器及び機器周辺	軽傷1名	沖縄県	調査の結果、当該製品に異常は認められず、調理油過熱防止装置の付いてない側のこんろで天ぷら調理中に、その場を離れていたため、発火したものと判断した。	
B1G08-331	2008/08/20	2009/12/22	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器があった台所から出火した火災が発生した。消防によると、当該機器の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで天ぷらを調理し消し忘れたため発火した、使用者の不注意が原因であり、当該機器に問題はないとの見解で調査終了。	家屋全焼	無	徳島県	調査の結果、当該製品の調理油過熱防止装置の付いてない側のこんろで天ぷら調理をし、消し忘れたため、発火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-330	2008/07/26	2009/12/22	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	使用者から「当該機器の右側こんろ(調理湯過熱防止装置なし)を使用中、『ボン』とする音とともに炎が上がり腕に火傷を負った。」との通報があった。消防、nite、及び弊社にて当該機器を検品結果、機器に異常は認められず、点火操作をしたところ正常に点火し使用できる状態で、製品に起因する事故ではないと判断した。	無	軽傷1名 (火傷)	福岡県	調査の結果、当該製品内部にガス漏れや発火した痕跡は認められず、点火動作をしたところ正常に点火し使用できる状態であった。	
B1G08-329	2008/04/07	2009/12/22	ガス炊飯器(LPガス用)	需要家が当該機器を使用していたところ、当該機器から出火して、機器と機器に接続されていた低圧ホース(両端迅速継手あり)及びサイドホースを焼損したとの事。調査の結果、当該機器にガスの漏洩は認められず、正常に点火し燃焼状態に異常はなかった。焼損の状況から外部から焼損したものと判断し、消防は、当該機器には問題がないとの結論で調査終了したとのこと。	機器及び機器周辺を焼損	無	埼玉県	調査の結果、当該製品にガスの漏洩は認められず、正常に点火し燃焼状態に異常はなかった。焼損の状況から、外部から焼損したものと判断した。	
B1G08-328	2008/03/21	2009/12/22	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, CF式)	当該機器および換気扇を使用中に家人3名が具合が悪くなって、病院に搬送された。使用の状況は、6畳ほどのダイニングキッチンに設置した当該機器を使用し、併せて石油ストーブも使用していた。さらに、同室内に設置していた換気扇を回して、排気が室内に逆流したものと推測される。尚、当該器具に接続した排気筒の排気筒トップの位置が風圧帯内にあり、ガス機器の設置基準及び実務指針の規定に合致していないことも確認した。また、当該機器は、上記の状況で15年間終年使用したために燃焼不良となったと推測し、製品に起因する事故ではないと判断された。	無	軽症3名	千葉県	調査の結果、施工業者によって、排気筒の先が屋根より低い風圧帯内に設置されており、排気が充分でない状態で長期間(15年間)使用されていたため、当該製品内に煤が付着して燃焼状態が悪くなり、CO濃度が高くなっていた。その状態で当該製品と換気扇を同時に使用したため、排気が妨げられ、CO濃度が高くなったものと判断した。なお、取扱説明書には、使用中は、レンジフード、換気扇を使用しない室内に排ガスが逆流し一酸化炭素中毒のおそれがある、旨記載されている。	
B1G08-327	2008/11/27	2009/12/16	ガス機器(その他)(迅速継手)	床ガス栓に接続されていた当該製品周辺が焼損する火災が発生した。事故原因は長期使用されていたガス栓用プラグが緩みガスが漏れガス警報器が鳴った際に使用者が確認のためにマッチを擦ったため、漏れたガスに着火した。	有	無	東京都	調査の結果、長期間使用されていたガス栓用プラグが緩み、ガスが漏れ、ガス警報器が鳴った際に、使用者が確認のためにマッチを擦ったため、漏れたガスに着火したものと判断した。	
B1G08-326	2008/10/31	2009/12/16	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	当該製品の調理油過熱防止センサー付のバーナーで調理中、鍋の油から発火した。原因は使用していた鍋の底に多量の汚れ(炭化物)が付着していたため、温度センサーが油の正確な温度を検知できなかったものと思われる。	無	無	大阪府	調査の結果、当該製品のセンサーは正常に機能するものであった。使用していた鍋の底に多量の汚れ(炭化物)が付着していたため、温度センサーが油の正確な温度を検知できなかったものと判断した。	
B1G08-325	2008/03/02	2009/12/16	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	ワンルームマンションの台所で火災が発生。原因はこんろの火を消し忘れたためと推測します。	こんろ周辺の天井と壁が焼損	重傷1名	東京都	調査の結果、調理油過熱防止装置のついていない当該製品を使用して、消し忘れたため、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-324	2008/08/30	2009/12/16	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	店舗で使用したタオル等を当該製品で乾燥したところ、タオル等の衣類が焼損していた。調査の結果、当該製品でオイルの付着したタオル等を乾燥し、ドラム内に放置したため、オイルの酸化熱により発火し、当該製品が焼損したものと判断した。	衣類のこげ	無	大阪府	調査の結果、当該製品でオイルの付着したタオル等を乾燥し、ドラム内に放置したため、オイルの酸化熱により発火し、当該製品が焼損したものと判断した。	
B1G08-323	2008/12/16	2009/12/15	ガスストーブ(ガスファンヒーター)	建物が半焼する火災が発生し、火災現場に当該製品があった。調査の結果により、当該製品の外側は焼損していたが、製品内部から発火した痕跡は認められず、焼損状況から、外部から焼損したものと判断した。	建物半焼	無	埼玉県	調査の結果により、当該製品の外側は焼損していたが、製品内部から発火した痕跡は認められず、焼損状況から、外部から焼損したものと判断した。	
B1G08-322	2008/09/24	2009/12/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用, 屋外式)	お客様が給湯使用時、排気口から炎が出た。数日前から強い異臭がしていた。調査の結果、当該製品内部に枯葉や虫が詰まり、給気不足で異常燃焼し、熱交換機に多量の煤が詰まったものと考えられる。そのためエラーメッセージが複数回出ていたにも関わらず、修理をせずに、スイッチを入切してリセットし、使用を続けていたため、事故に至ったものと判断した。	機器前方の物置のひさが焦げた	無	奈良県	調査の結果、当該製品内部に枯葉や虫が詰まり、給気不足で異常燃焼し、熱交換機に多量の煤が詰まったものと考えられる。そのためエラーメッセージが複数回出ていたにも関わらず、修理をせずに、スイッチを入切してリセットし、使用を続けていたため、事故に至ったものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-321	2008/11/25	2009/12/09	ガス給湯付ふろがま(LPガス用, BF式)	シャワー使用中に気分が悪くなり、病院で軽度のCO中毒と診断された。原因は、使用者は日頃からシャワーのみを使用しており、浴槽に湯を入れていないで浴槽の縁を手すり代わりに使用していた為、浴槽及び当該機器がズレ、給排気筒が外れて燃焼排ガスが浴室内に漏れた為。	無	軽傷1名 (CO中毒)	広島県	調査の結果、当該製品に変形や損傷は無く、異常は認められなかった。使用者は日頃シャワーのみを使用しており、浴槽に湯を入れていないで浴槽の縁を手すりに使用していたため、浴槽及び当該製品がズレ、給排気筒が外れて燃焼排ガスが浴室内に漏れたものと判断した。	
B1G08-320	2008/10/24	2009/12/09	ガスふろがま(LPガス用, OF式)	繰り返し点火操作を行い、小爆発で腕に火傷を負った。	無	軽傷1名 (火傷)	三重県	調査の結果、当該製品にガス漏れや変形は認められなかった。	
B1G08-319	2008/06/19	2009/12/09	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	口火点火してしばらくすると器具から煙が出ていた。	器具内部と浴槽 連結ゴムが焼けた	無	神奈川県	調査の結果、使用者が当該製品で空焚きしたことから当該製品が焼損したものと判断した。当該製品には安全装置が付いているが、設置工事のミスによりガスを遮断するバルブシートが脱落していたため、ガスが遮断されなかった。	
B1G08-318	2008/04/16	2009/12/09	ガスふろがま(LPガス用, 屋外式)	浴槽の栓から水が抜け、空焚きとなり壁を焼損した。	フロア設置面の 外壁が焼損	無	茨城県		
B1G08-317	2008/04/08	2009/12/09	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, FE式)	給湯器付近で臭い様な気がし、救急車で7名が病院へ搬送された。排気ダクトの出口もしくは、ハンオープン排気フードトップが強風等の気象条件の影響により一時的に排気が押し戻され、排気が厨房内へあふれたものと思われる。	無	軽傷7名 (火傷)	東京都	調査の結果、施工業者によって、当該製品の隣に業務用のこんろが設置され、こんろからの煤煙が当該製品に吸い込まれたこと、及びフィルター清掃が十分行われていなかったことから、当該製品が不完全燃焼となり高濃度のCOが排出されていたため、一酸化炭素中毒に至ったものと判断した。	
B1G08-316	2008/07/08	2009/08/19	ガス機器(その他)(ガス栓, LPガス用)	料理店において、当該製品と迅速継手との接続部から漏洩したガスに引火、爆発した。	床及び壁焼損	軽傷4名	北海道	調査の結果、当該製品に異常は認められなかった。当該製品と迅速継手の接続部に異物が挟み込まれるなど、接続が不十分であったため、接続部から漏洩したガスに引火したものと判断した。	B1G0800314と B1G0800316は同一の事故
B1G08-315	2008/10/31	2009/08/07	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	当該製品付近で臭いがし、1名が軽度のCO中毒と診断され、経過観察のため入院した。調査の結果、ベランダに置かれていた当該製品は、取扱説明書で禁止されている台所からの換気扇のフードの下に誤って設置されていたため、換気扇からの湿気を含んだ排気が当該製品に当たり、製品内を錆びさせ、給気経路の一部を閉塞し給気不足となったことから、一酸化炭素濃度が高くなったものと判断する。	無	CO中毒	大阪府	調査の結果、ベランダに置かれていた当該製品は、取扱説明書で禁止されている台所からの換気扇のフードの下に誤って設置されていたため、換気扇からの湿気を含んだ排気が当該製品に当たり、製品内を錆びさせ、給気経路の一部を閉塞し給気不足となったことから、一酸化炭素濃度が高くなったものと判断した。	
B1G08-314	2008/07/08	2009/08/07	ガス機器(その他)(迅速継手, LPガス用)	料理店において、当該機器付近から漏洩したガスに引火する火災が発生し、4名が軽傷を負った。調査の結果当該機器に異常は認められなかった。当該機器とガス栓の接続が不十分であったため、接続部から漏洩したガスに引火したと思われる。	機器周辺の一部 焼損	軽症4名 (火傷)	北海道	調査の結果、当該製品に異常は認められなかった。当該製品とガス栓の接続部に異物が挟み込まれるなど、接続が不十分であったため、接続部から漏洩したガスに引火したものと判断した。	B1G0800314と B1G0800316は同一の事故
B1G08-313	2008/12/23	2009/08/06	ガストーブ(都市ガス用)	ガス温風暖房機使用中にスプレー缶が破裂し、2名軽傷。スプレー缶を当該製品の温風のあたるところに放置したため、熱で缶の圧力が上がり爆発したものと判断された。なお、取扱説明書には、吹き出し口にはスプレー缶を置かないように注意表示が記載されている。	無	軽症2名	滋賀県	スプレー缶を当該製品の温風のあたるところに放置したため、熱で缶の圧力が上がり爆発したものと判断した。なお、取扱説明書には、吹き出し口にはスプレー缶を置かないように注意表示が記載されている。	
B1G08-312	2008/11/12	2009/08/06	ガスこんろ(LPガス用)	当該機器のグリル後方排気部より炎が上がり台所周辺に燃え広がった。消防は、使用者が当該機器のグリルを消し忘れたことが原因との見解で調査終了。	有	無	宮崎県	調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者がグリルを使用した際に火を消し忘れたまま放置したため、グリル内部に残っていた油分に火が付き、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-311	2008/11/09	2009/08/06	ガスこんろ(都市ガス用)	使用者が当該機器のグリルを消し忘れて外出し、帰宅すると当該機器から炎が出ており、台所のシンク周りと換気扇が煤けた。消防は、使用者の不注意が原因との見解で調査終了。	有	無	神奈川県	調査の結果、当該製品に異常は認められず、使用者がグリルを使用した際に火を消し忘れたまま放置したため、グリル内部に残っていた油分に火が付き、火災に至ったものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-310	2008/11/04	2009/08/06	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器の火を消して外出して戻ったら火災になっていた。 消防によると、子供が乾燥した棒状のスパゲティの先に火をつけ、こんろの下に敷いてある新聞の上に燃えたスパゲティを置き火災に至ったことから、不注意及び当該機器の下に可燃物が敷いてあったことが原因との見解で調査終了したとのこと。	有	無	愛知県	調査の結果、当該製品は事故当時使用されておらず、外部から焼損したものと判断した。	METI発表では「都市ガス用」と表記。
B1G08-309	2008/09/25	2009/08/06	ガスこんろ(LPガス用)	当該機器に関わる火災が発生した。調理油過熱防止装置のついていない側のこんろに、何も入っていないフライパンが乗っており、点火状態のまま放置されていたため出火した。消防は、使用者の取扱不注意が原因と推定し調査終了。	有	無	広島県	調査の結果、当該製品の調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで調理中、火を消し忘れたまま放置したため発火したものと判断した。	
B1G08-308	2008/09/15	2009/08/06	ガスこんろ(都市ガス用)	ワルムマンションの一室で爆発・火災が発生した。ガス事業者が、当該機器、及び室内ガス配管のガス漏洩検査を実施し異常が無い事を確認した。また、警察と消防の立会いのもと当該機器の燃焼検査を実施し立ち消え安全装置が正常に作動する事を確認した。消防は、当該機器には起因しないとの見解で調査終了したとのこと。	有	有	埼玉県	調査の結果、故意にガスが漏洩されたことによる事故であり、当該製品には異常や不具合は認められなかった。	
B1G08-307	2008/07/17	2009/08/06	ガスふろがま(LPガス用、BF式)	ふろ点火したところ、機器より炎が出て火傷を負った。原因は、フロントカバーを外して使用していたため、風等の影響で炎が機器手前にあふれ火傷を負った。	無	軽傷1名 (火傷)	栃木県	調査の結果、使用者が当該製品のフロントカバーのネジを外した状態で立てかけて使用していたため、風等の影響から炎が隙間からあふれたものと判断した。	
B1G08-306	2008/06/26	2009/08/06	ガスレンジ	当該機器のグリル使用時に排気口から火が出て、当該機器内グリル後部が一部焼損し、台所の天井及び壁の一部が煤けた。	器具焼損	無	兵庫県	調査の結果、修理時にOリング(パッキン)が正常に取り付けられていなかったため、漏洩したガスにバーナーの火が引火したものと判断した。	METI発表では「ガスこんろ」と表記。
B1G08-305	2008/06/01	2009/08/06	ガス給湯暖房機(都市ガス用、屋外式)	ベランダにあった当該製品及び当該製品の左側下部にあったエアコン室外機等が焼損する火災が発生した。	器具焼損	無	兵庫県	調査の結果、当該製品には発火の痕跡が見られず、点火・消火の動作も正常であった。また、排気口及び周辺に熱変色や煤の付着もみられず、外部から焼損したものと判断した。	
B1G08-304	2008/03/14	2009/08/06	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	コンロ付近より出火した。 調査の結果、使用者が当該製品を使用したまま、その場を離れた事から、当該製品の近傍に置かれた可燃物にコンロの炎が引火したものと判断された。	炊飯器焼損	死亡1名	愛知県	調査の結果、使用者が当該製品を使用したまま、その場を離れたことから、当該製品の近傍に置かれた可燃物にこんろの炎が引火したものと判断した。	
B1G08-303	2008/03/12	2009/08/06	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、屋外式)	当該製品の排気口より炎が吹き出し、当該機器の上部にあった窓の網戸の一部が焼損した。	機器および機器 周辺の一部焼損	無	広島県	調査の結果、当該製品が、寮の共同浴場の給湯設備として2台並べて配管で並列接続されていたため、水量バランスの偏りや製品酷使の影響から煤詰まりが加速し、不完全燃焼から排気口が焼損したもので、施工上の問題と判断した。	
B1G08-302	2008/02/27	2009/08/06	ガスこんろ(LPガス用)	当該機器で揚げ物調理をして消火した後に、天ぷら鍋の下付近から炎が出てきたとのこと。消防は、需要家が天ぷら調理後、こんろを消火したつもりがグリルを点火してしまい、グリル内に残っていた油脂に引火したという、使用方法の誤りが原因と推定し、当該機器に不備はなかったとして調査終了したとのこと。	有	無	和歌山県	調査の結果、使用者が当該製品で調理した後、こんろの火を消す際に誤ってグリルを点火し放置したため、グリル内の油よこれに引火し発火したものと判断した。	
B1G08-301	2008/02/29	2009/08/06	ガスふろがま(LPガス用、CF式)	父親と子供が入浴中、めまいや嘔吐のCO中毒症状で病院へ搬送された。	無	CO中毒	山形県	調査の結果、外壁工事のためにふろがまの煙突を工事業者が取り外したことに気づかず、使用者がふろがまを使用したため、排ガスが浴室に流れ込んだもので、施工上の問題と判断した。	
B1G08-300	2008/02/20	2009/08/06	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、BF式)	ふろ追いだき中に、当該機器から火が出ていたため、浴槽の水をかけて消火した。原因は、冠水により、バーナに正常なガス噴出が出来ず、あふれたガスに着火し機器のパッキン類に引火した。	機器一部焼損	無	東京都	調査の結果、当該製品は浴室排水溝の目詰まりによる排水不良により冠水が繰り返され、製品下部が腐食し穴が空いており、事故発生時も、製品下部を冠水させたまま燃焼させたことから、穴から水が製品内に入ったため、異常燃焼に至ったものと判断した。	
B1G08-299	2008/01/31	2009/08/06	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、屋外式)	入浴中に追炊操作をし循環口から高温の湯が出てきて軽度の火傷を負った。	無	軽傷1名 (火傷)	兵庫県	調査の結果、当該製品に故障等の異常は認められなかった。現地での試験でも事故となる状況は再現されなかった。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-298	2008/02/03	2009/08/06	ガス給湯暖房機(都市ガス用, FF式)	当該製品に接続された排気筒周辺の天井の一部を焼損する火災が発生した。	排気筒周辺の天井の一部を焼損	無	愛知県	調査の結果、当該製品に接続された天井裏の排気筒が施工当初から途中で外れており、漏れ出た排気の熱により焼損に至ったものであり、施工上の問題と判断した。	
B1G08-297	2008/01/10	2009/08/06	ガス機器(その他)(ガス栓、都市ガス用)	ビルトインコンロを点火したところ、キャビネット内に充満していたガスに引火し、キャビネット内を焼損した。	キャビネット内、ガス栓のつまみ部が焼損	無	千葉県	調査の結果、施工時に誤って、ガス栓の空気抜き穴の締結ビスを確実に閉めなかったことから、空気抜き穴より少量のガスが漏洩し、こんろ着火時に引火したもので、施工上の問題と判断した。	
B1G08-296	2008/01/05	2009/08/06	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	浴室でシャワーを使用中、熱いお湯が出てきて胸に火傷を負った。	無	軽傷1名(火傷)	東京都	調査の結果、当該製品に故障等の異常は見られず、急に高温の湯が出ることはなかった。また、現地での試験でも確認をしたが、異常は見られなかった。	
B1G08-295	2008/12/30	2009/07/29	ガスストーブ(都市ガス用, 開放式)	朝起きてストーブを点火し一時部屋を離れた後、戻ったら煙が発生していた、との事。当該製品のスイッチを入れ、その場を離れている間に、ストーブガード周辺の衣類や布団が接触し、着火したものと判断された。	無	重症1名	大阪府	調査の結果、当該製品のスイッチを入れ、その場を離れている間に、ストーブガード周辺に衣服や布団が接触し、着火したものと判断した。	
B1G08-294	2008/12/14	2009/07/29	ガス冷媒加熱式ルームエアコン	ガス冷媒加熱式ルームエアコンをつけたまま外出され、留守の間に火災が発生し、隣の住人が火事に気がつき消防に通報した。当該製品の内部の電気部品や配線等には発火の痕跡は認められず、現場の焼損状況より外部から焼損したものと判断された。	テラス窓付近の床焼損	無	山梨県		
B1G08-293	2008/12/13	2009/07/29	ガス衣類乾燥機(LPガス用)	厨房室に設置されている乾燥機にタオルを入れて乾燥中にタオルが発火し、消火器で消火。当該製品で油分の付着しているタオルを乾燥したために、タオルに残留していた油分が酸化熱により発火したものと判断された。当該製品のドラム内のリフターが外れたまま、修理をせずに使用されていた為、タオルの温度が上昇し、発火が助長されたと考えられる。なお、製品本体及び取扱説明書には、油の付着した衣類は乾燥しない旨、記載されている。	無	無	福井県	調査の結果、当該製品で油分の付着しているタオルを乾燥したために、タオルに残留していた油分が酸化熱により発火したものと判断した。当該製品のドラム内のリフターが外れたまま、修理をせずに使用されていたため、タオルの温度が上昇し、発火が助長されたと考えられる。なお、製品本体及び取扱説明書には、油の付着した衣類は乾燥しない旨、記載されている。	
B1G08-292	2008/11/17	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	木造2階建て延べ220㎡のうち、2階の住宅部分約20㎡を損傷する火災が発生。使用者が当該製品のグリルを使用したまま外出したため、グリル内が過熱され、火災に至ったものと判断された。	家屋20㎡焼損	無	北海道	調査の結果、使用者が当該製品のグリルを使用したまま外出したため、グリル内が過熱され、火災に至ったものと判断した。	B1G0800278とB1G0800292は同一事故で、B1G0800278は間違いない情報
B1G08-291	2008/11/12	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	グリルを使用中、消し忘れにより出火した模様。グリル内に炭化した魚の切り身を確認。グリル排気口にやかんのせ、湯を沸かしていた(想定外の使用方法)との事。当該製品のグリルで調理中に外出していたことから、消し忘れで火災に至ったものと判断された。	無	無	山梨県	調査の結果、当該製品のグリルで調理中に外出していたことから、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-290	2008/11/03	2009/07/29	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	風呂釜が異常着火を起こしたとの連絡を受け、ガス事業者が訪問し確認したところ、風呂釜本体が少し変形していた。使用者は、事故当日訪れた家人以外のもので、点火操作に不慣れなため、うまく点火出来ず、点火操作を繰り返したため、ふろがま内部にガスが滞留し、小爆発をおこしたものと判断された。	無	無	福岡県	調査の結果、当該製品に異常は認められなかった。使用者は、事故当日訪れた家人以外のもので点火操作に不慣れなため、うまく点火出来ず、点火操作を繰り返したため、ふろがま内部にガスが滞留し、小爆発をおこしたものと判断した。	
B1G08-289	2008/11/16	2009/07/29	ガスファンヒーター	ゴム管と電気コードの接続されたガスファンヒーターの上に、電気カーペットと雑品を置いていたところ、なんらかの原因でガスファンヒーターのスイッチが入り運転状態となり、長時間気づかなかった為、カーペットが加熱され着火し火災となった。ガスファンヒーターと接続ゴム管及びカーペットや雑品等を焼損した。使用者が当該製品の置いてある場所を片付け中、スイッチの入っていた当該製品の上に可燃物を置いた状態でその場を離れていた為、可燃物が加熱され、発火したものと判断された。	カーペットと雑誌を焼損	無	大阪府	調査の結果、使用者が当該製品の置いてある場所を片付け中、スイッチの入っていた当該製品の上に可燃物を置いた状態でその場を離れていたため、可燃物が加熱され、発火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-288	2008/10/30	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	ガス事業者様が東淀川消防署より火災で受付、緊急出動。ガステーブルこんろの一部焼損、台所の一部も焼損。 こんろ左側バーナーの器具栓ツマミ開状態で、器具側のホース先端部焼損・ホースエンド溶解状態確認。 フライパンをバーナーに乗せたまま火を消し忘れて外出したため、フライパンの輻射熱によって、近くにあったプラスチック製品が発火したものと判断された。	台所一部 焼損	無	大阪府	調査の結果、フライパンをバーナーに乗せたまま火を消し忘れて外出したため、フライパンの輻射熱によって、近くにあったプラスチック製品が発火したものと判断した。	
B1G08-287	2008/01/19	2009/07/29	ガス瞬間湯沸器	消防からガス事業者へ「瞬間湯沸器の不完全燃焼で急病人が発生した」旨の連絡あり。3名が病院へ搬送され一酸化炭素中毒と診断され入院し、翌日20日に退院した。 当該製品のバーナー混合管が蜘蛛の巣や昆虫の卵で塞がれて不完全燃焼を検知し、当該製品の安全装置が働き燃焼を停止させる状態であったことを使用者が認識しながら、繰り返し点火操作したため、一酸化炭素中毒に至ったものと判断された。	無	軽傷3名	東京都	調査の結果、当該製品のバーナー混合管が蜘蛛の巣や昆虫の卵で塞がれて不完全燃焼を検知し、当該製品の安全装置が働き燃焼を停止させる状態であったことを使用者が認識しながら、繰り返し点火操作したため、一酸化炭素中毒に至ったものと判断した。	
B1G08-286	2008/11/30	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器のグリルで水受け皿に水を入れずにパンを焼いていて目を離したうちに、グリル排気口から火が上がり、レンジフード、つり戸棚、内壁を焼いた火災が発生した。消防は、使用者がグリルを使用中に放置したため、清掃不備により堆積していた油脂が発火したという取扱不注意が原因として調査終了。	台所周辺を焼損	軽傷2名	東京都	調査の結果、当該製品のグリルの火を消し忘れ、庫内で炎が上がり、グリル底部が高温となったため、当該製品の下に誤って入れられていたガスホースが熱により穴が開き、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-285	2008/08/17	2009/07/29	ガスこんろ	当該機器で揚げ物を調理中、目を離したすきに鍋に火が入り燃え上がった。消防は、揚げ物を調理中に目を離したという取扱不注意が原因とみて調査終了。	器具焼損	無	愛知県	調査の結果、当該製品には異常は見られず、当該製品で調理中、目を離していたため、油が過熱し発火したものと判断した。	
B1G08-284	2008/11/15	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	木造2階建て住宅の1階台所付近で火災が発生した。消防によると、当該機器が現場にあったが点火ボタンは「閉」の位置にあり、また機器の上に鍋等もなかったことから当該機器は使用していなかったとみられ、当該機器は関わりなしとの見解で調査終了。	台所付近焼損	1名死亡	東京都	調査の結果、当該製品の操作つまみは全て「閉」の位置になっており、事故当時に当該製品は使用されていなかった。	
B1G08-283	2008/10/28	2009/07/29	ガス湯沸器(LPガス用, 屋外式)	当該機器の直上15cmに屋根が設置されており、その木枠が燃えた。消防は、屋根・ブロック塀等で囲まれているため、排気がリサイクル(給気側に流入)する設置環境であり、機器が燃焼不良になったことが原因との見解で調査終了。尚、当該機器の上方15cmに可燃物が設置されている事は、条例に適合しない。	屋根の木枠を焼損	無	鹿児島県	調査の結果、軒下に設置された当該製品の正面にブロック塀を増設してしまったため、離隔距離不足で、排ガスが停滞し、不完全燃焼により熱交換器に多量のすすが詰まり、未燃ガスに引火したものと判断した。	
B1G08-282	2008/10/18	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	台所付近で爆発があり、1名が熱風を吸って軽い火傷を負い、1名がガラス片を踏み両足の裏に軽傷を負った。消防は、当該機器に接続されていない他のガス元栓を誤って操作したという、使用者の不注意が原因として調査終了した。当該機器に不備はなく、事故に関与していないとの事。	窓ガラス破損	2名軽症	千葉県	調査の結果、当該製品に不具合は認められず、使用者がガス器具が接続されていない側のガス元栓を誤って半開きにしたため、ガスが漏れて引火爆発に至ったものと判断した。	
B1G08-281	2008/10/08	2009/07/29	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	使用者が当該機器を消火した後、約30分後に再度戻ると、当該機器の前面点火ボタン部が燃えていた。当該機器はガスこんろの直上約50cmの位置に設置され条例に適合しない設置であった。消防立会いのもと弊社が、当該機器停止状態では機器本体からのガス漏れが無い事を確認した。また弊社が調査したところ、設置状況、及び焼損状態から、長期の使用により調理時の油煙や油煙を含んだ埃が機器の下部左側の内外に堆積し、機器を点火した際のバーナーの炎が機器に付着していた油煙を含んだ埃に引火したと推測する。	器具焼損	無	大阪府	調査の結果、当該製品は左側底部と基板周辺の焼損が著しかったが、基板に発火の痕跡は認められなかった。ガスこんろの真上近くに、当該製品に必要な離隔距離を確保せずに誤って設置したため、当該製品内に堆積した埃に油分が含まれた状態になり、点火時に引火したものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-280	2008/04/12	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器を使用中に火災が発生した。鍋は空焚きで、グリル内の魚は焼け焦げた状態であった。消防は使用者が点火状態で放置したことが原因として調査終了。	器具焼損	無	大阪府	調査の結果、当該製品のグリルとバーナーで調理中、火を消さずに寝入ってしまった、その後、こんろから発火し、その周辺に延焼したものと判断した。	
B1G08-279	2008/12/03	2009/07/29	ガスこんろ	当該機器のこんろを点火するつもりが、誤ってグリルを点火して、目を離しているうちに火災になった。消防は、使用上の不注意が原因として調査中。	有	無	千葉県	当該機器のこんろを使用する際、誤ってグリルに点火し放置したため、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-278	2008/11/17	2009/07/29	ガスこんろ	木造2階建て延べ220平方メートルのうち、2階の住宅部分約20平方メートルを焼損する火災が発生した。当初消防より、弊社製品とみられるとの情報があったが、弊社社員が同消防署を訪問し、消防立会いのもと当該製品を検品したところ、グリル扉が下がるという弊社の製品にはない形状から、他社の製品であると判断した。	有	無	北海道	当該事故現場にあった製品は、当該事業者の製造した製品ではなかったことが判明した。	B1G0800278とB1G0800292は同一事故で、B1G0800278は間違い情報
B1G08-277	2008/11/10	2009/07/29	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	台所の布巾が燃え壁が少し煤けた。消防によると、使用者は事故当時は当該機器を使用していないと証言しており、また、消防にて確認のため当該機器の調査をしたが、機器内部に熱損も無く異常が認められなかった。以上より当該機器の関与も含め、原因特定できず調査終了したとのこと。	有	無	東京都	事故発生時、当該機器は使用しておらず、機器内部に焼損もなく異常が認められなかった。	
B1G08-276	2008/10/26	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	当該機器の左側こんろで、寸胴鍋を2時間以上長時間全開で使用していたところ発煙した。消防によると、防火対策がされていない壁と当該機器の左側こんろとの離隔距離が3cmしかなく、壁の中のコンパネが低温発火したとのことで、使用者の不注意が原因として調査終了。	有	無	宮城県	事故発生時、当該機器と壁の間の距離(離隔距離)が不足していたため、壁材より発煙したものと判断した。	
B1G08-275	2008/10/16	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器のグリルで鮭を調理中に放置し、1時間半後に出火した。当該機器、レンジフード及び当該機器付近の壁面一部を焼損し、熱により出窓のガラスが割れた。また1名の方が煙を吸込み、喉に軽傷を負った。消防は、グリルの消し忘れが原因として調査終了。	有	無	東京都	調査の結果、当該機器のグリルで調理中、火を消し忘れたまま放置したため、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-274	2008/10/10	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	当該機器のグリル使用中に火災が発生した。消防は、使用者がグリル使用中にその場を離れたことが原因との見解で調査終了。	有	無	奈良県	当該機器のグリルで調理中、その場を離れ放置したため火災に至ったと判断した。	
B1G08-273	2008/10/09	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	調理油過熱防止装置がない当該機器にて天ぷら調理中その場を離れて火災になった。消防によると、使用上の不注意が原因との見解で調査終了。	有	無	福島県	当該機器の調理油過熱防止装置がない側のこんろで天ぷらを調理中、その場を離れ放置したため発火したものと判断した。	
B1G08-272	2008/09/07	2009/07/29	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	使用者が自ら新しい当該機器を取付けて使用したら火が出て、台所に設置した当該機器の電池ケースの一部が焦げていた。消防は、使用者が自ら強化ガスホースを再利用した際、パッキンがないまま接続したため、漏洩したガスに当該機器点火時の火が着火したとの見解で調査終了。	有	無	東京都	調査の結果、当該機器を取り付けた際、パッキンを取り付けずにガスホースを接続したため、接続部からガスが漏洩したものと判断した。取扱説明書には、接続は配管業者が行う旨、記載されている。	
B1G08-271	2008/08/26	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器付近から出火し台所を焼損した火災が発生した。消防及び警察によると、使用者が当該機器のこんろで油の入ったフライパンを点火したまま外出したという、消し忘れが原因と推定したとのこと。	有	無	北海道	調査の結果、当該機器の調理油過熱防止装置のない側のこんろで天ぷら油を加熱中、その場を離れて放置したため、発火したものと判断した。	
B1G08-270	2008/08/21	2009/07/29	ガスこんろ(都市ガス用)	当該機器にてお湯を沸かしたまま外出している間に発火し、当該機器付近を焼損した。消防は、使用者が当該機器を点火したまま外出したという、取扱不注意が原因として調査終了。	有	無	東京都	調査の結果、当該機器の調理油過熱防止装置のない側のこんろでお湯を沸かしたまま、外出してしまったことにより火災に至ったものと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-269	2008/08/11	2009/07/29	ガス瞬間湯沸器	外壁に設置してある当該機器の周辺の外壁から白い煙が出た。消防は外壁と内壁の間の配線に被覆が剥がれ短絡していた箇所があり、そこが発火元として調査終了。尚、同箇所は当該機器2台の電源コードが接続されている2口コンセントより建物の分電盤側の壁間であり、当該機器には起因していない。	有	無	石川県	調査の結果、当該機器に異常はなく、当該機器付近の壁内に配線されていた屋内電気配線からの発煙であったと判断した。	
B1G08-268	2008/08/01	2009/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	使用者が当該機器のグリルで魚を焼いたまま放置したため排気口から煙が上がった。その後、点火ボタンを押して消火操作をし、グリル扉を開いた際、当該機器のグリル排気口から炎が出た。消防は使用者がグリルを消し忘れたことが原因との見解で調査終了。	有	無	愛知県	調査の結果、当該機器のグリルで調理中、火を消し忘れたまま放置したため、焼けた魚に火が付き、カーベットで消火しようとして、引火し、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-267	2008/05/24	2009/07/29	ガスこんろ	当該機器の点火がなかなかできないことから、使用者が点火器具を使って当該機器に点火しようとしたところ、ガス元栓、ゴム管付近から発火した。消防によると、使用者は当該機器を2口タイプのガス元栓に接続しており、誤って当該機器を接続していない側のガス元栓を開き、当該機器に点火器具を使用して点火したところ、漏れたガスに引火したとのこと。消防は当該機器に不備はなかったとして調査終了。	有	無	愛知県	調査の結果、誤って未接続のガス栓を開放し、ガスが漏洩していたところに、別の点火器具で点火操作を行ったために引火し、ガス栓周辺が焼損したものと判断した。	
B1G08-266	2008/12/27	2009/04/28	ガス栓(都市ガス用)	需要家が自宅にて台所のコンロからガスを出した上でガスコンロのスイッチを点火して爆発させ、自殺をしようとして火災が発生した。	家屋1戸全焼及び他数戸が部分焼け。器具焼損	火傷	長崎県	調査の結果、当該製品には異常はなく、ガス漏れも認められないことから、原因は使用方法にあったと判断した。	
B1G08-265	2008/01/12	2009/04/28	ガス衣類乾燥機(LPガス用)	当該製品を使用中、異音が生じたため確認すると、製品前面付近が燃えていたため、消火した。操作パネルの一部と下に設置していた洗濯機の一部が焼損した。調査の結果、プロパンガス販売会社の修理時にOリング(パッキン)が正常に取り付けられていなかったため、漏洩したガスにバーナーの火が引火したものと判断し、製品起因による事故で無いことが判明した。	器具一部焼損	無	千葉県	調査の結果、修理時にOリング(パッキン)が正常に取り付けられていなかったため、漏洩したガスにバーナーの火が引火したものと判断した。	
B1G08-264	2008/11/21	2009/04/02	ガスストーブ(都市ガス用、赤外線)	お風呂上りにバスローブを着ていて、ストーブから着衣着火した事故であったが、機器に問題はなく使用者ミスによる事故と判断された。	無	火傷入院	大阪府	当該製品に問題はなく、使用中に燃焼部に近づきすぎたために、着衣着火して事故に至ったものと判断した。	
B1G08-263	2008/11/13	2009/04/02	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	グリルで魚を調理中出火し、乾いた布をグリル排気部分に押し当てた為、更に炎が大きくなり、延焼して室内壁面が焦げた。原因としては、グリル部分の手入れ不足により、溜まった魚の油脂等から出火したものと判断された。	壁焦げ	無	静岡県	グリル皿に水を入れない状態で使用し続けたために、グリル皿にたまった魚の油脂などから出火したものと判断した。	
B1G08-262	2008/10/21	2009/04/02	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	コンロで調理後外出したところ、火災が発生。調査の結果、製品起因による事故では無いと判断された。	換気扇と壁の一部を焼損	無	大阪府	調査の結果、当該製品の操作ボタンは全て消火位置にあり、当該製品から出火した痕跡はなく、外部から焼損したものと判断した。	
B1G08-261	2008/10/11	2009/04/02	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	安全装置のついていない左バーナー側で天ぷらを調理中、目を離れたスキに出火し火災が発生。	不明	無	奈良県	調理油過熱防止装置のないバーナー側で揚げ物を調理中に目を離れたために、油が過熱して出火に至ったものと判断した。	
B1G08-260	2008/09/05	2009/04/02	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、屋外式)	ベランダの窓を開けていたら気分が悪くなり、病院へ行ったら夫婦とも、CO中毒の疑い、と診断された。NITE・ガス事業者との合同調査の結果、燃焼性をはじめ器具には全く異常は見られず、器具が起因した事故では無いと判断された。	無	CO中毒の疑い(2名)	愛知県	調査の結果、当該機器の排ガス量、燃焼状態は正常でCO濃度に異常はないことが確認された。	
B1G08-259	2008/01/02	2009/04/02	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	一般集合住宅において爆発火災があり、一室を全焼し、2名が死傷。調査の結果、当該機器に異常は見られず、製品起因による事故ではないと判断された。	一室全焼	1名死亡1名重症	福岡県	調査の結果、当該機器にガス漏洩が生じるような異常はみられなかった。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B1G08-258	2008/12/18	2009/03/24	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	天ぷら調理中、本人がその場を離れ、屋外に出ている間に着火し、木造住宅台所のコンロ周辺約20㎡を焼損した。	コンロ周辺約20㎡を焼損	無	福島県			
B1G08-257	2008/12/17	2009/03/24	ガスこんろ(LPガス用, 組込型)	木造住宅1F台所で天ぷら調理中、本人がその場を離れ2Fに上がっている間に着火し、コンロ周辺及び壁など4㎡を焼損した。	コンロ周辺及び壁など4㎡を焼損	無	福島県			
B2G08-256	2008/10/29	2009/02/05	ガスフライヤー(都市ガス用, 業務用)	飲食店の厨房において、油かすのろ過作業中に当該機器の運転スイッチ及びガスバルブスイッチを切ることなく、排油バーを開き排油操作をした。油量が少なくなった時点で油槽から出火した。	無	無	東京都			
B2G08-255	2008/12/11	2009/01/30	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	・お客様からの申し出によると、湯沸器を2～5秒間使用した所、CO中毒により倒れたとの事。 ・翌日現場対応した作業員はCOの基準値オーバーと診断。 ・お客様は、1月7日現在も頭痛がある、との事。(お客様に東京ガス様が診断を受けるよう勧めたが、病院には行っておらず、医師の診断は受けていない)	無	医師診断結果無	東京都			
B1G08-254	2008/11/27	2009/01/30	ガスこんろ(LPガス用, 組込型)	木造2階建て住宅で、調理後の火の消し忘れから出火し、1階台所とリビングなど約27平方メートルを焼損。	器具焼損	無	福島県			
A2G08-253	2008/11/29	2009/01/22	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用, 屋外式)	2008年10月まで未入居状態であった。10月になってから入居した。主に給湯器による落とし込みで使用、風呂釜は追い焚きする時にだけ使用していた。器具が黒く変色している状態で他への延焼は無かった。	有 釜内部焼損	無	愛媛県			リコール品 (2007/04/19)
A1G08-252	2008/12/25	2009/01/16	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	使用者が当該機器で天ぷら調理中、火災発生。調理油過熱防止装置が付いていない側のコンロで調理中、目を離された使用上の不注意が原因として消防では調査終了。	無	無	千葉県			
B2G08-251	2008/12/18	2009/01/16	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	ドーンと音がして何かが爆発した。白い煙が充填して、当該機器が天板より押しつぶされ棄損した。消防は、使用者が栓をしたままの「湯たんぼ」を当該機器で暖めた使用上の不注意が原因として調査終了した。	器具棄損	無	大阪府			
B1G08-250	2008/09/20	2009/01/15	カセットこんろ	文化祭の模擬店で、コンロ4台の上に鉄板2枚を載せ、焼きそばを調理中、ガスボンベが爆発し、生徒14名が、のどや顔にやけどを負い、病院に搬送され、1人が現場で手当てを受けた。いずれも命に別状無し。	無	15名負傷	東京都	取扱説明書で禁止されているカセットこんろを2台並べ、その上に鉄板を置いた状態で使用していたため、バーナーの火で加熱された鉄板からの輻射熱により、カセットこんろのボンベが爆発したもので、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G08-249	2008/10/20	2009/01/14	ガスふろがま(都市ガス用, 屋外式)	工事説明書で「必ず不燃材の上に設置する」とされているのに従わず、機器と設置台の間に木材を挟んだため、バーナー燃焼時の輻射熱により木材が低温発火した。	有	無	大阪府	工事説明書で「必ず不燃材の上に設置する」とされているのに従わず、機器と設置台の間に木材を挟んだため、バーナー燃焼時の輻射熱により木材が低温発火したもので、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G08-248	2008/10/16	2009/01/14	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	テーブルこんろのグリルでしゃもを焼いて目を離れたスキに着火、こんろを焼損しこんろ廻りを焦がした。グリル調理中火を消さずにその場を離れ、放置したことにより出火し、火災に至ったもので製品に起因する事故でないと判断された。	こんろ周辺焼損	無	神奈川県	使用者が当該機器のグリルで調理中、火を消さずにその場を離れ、放置したことにより出火し、火災に至ったもので、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G08-247	2008/09/28	2009/01/14	ガスこんろ(LPガス用, 組込型)	グリルに火をつけたまま外出したため火災に至り、台所の壁と天井の一部が焼損した。	有	無	兵庫県	グリルに火をつけたまま外出したため火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-246	2008/09/14	2009/01/14	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	・深夜お茶を飲もうと使用者がやかんに火お掛け、寝入ってしまった。 ・やかんの水が無くなり、やかんそのものが高温加熱され、横に立てかけていた「樹脂製まな板」が溶融焼損、こんろそのものも焼損し、キッチン部がスス等で汚損した。	有	無	大阪府	当該製品でお湯を沸かすためにやかんを火にかけたまま寝入ってしまったため、やかんが過熱して周辺が焼損したもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-245	2008/09/11	2009/01/14	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	ガスこんろと壁の間から火が出て、台所の一部と屋根裏を焼損する火災が発生した。消防は、使用者が当該機器で魚を焼いていて目を離した間に発火したもので、使用者の取扱不注意が原因として調査終了。	有	有	北海道	当該機器のグリルで魚を調理中に目を離し、放置した間に発火したもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-244	2008/08/30	2009/01/14	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	左大バーナーにて鍋でお湯を沸かされていたが、小バーナーに載せてあった別の鍋をとうとうとしたところ、左大バーナーの鍋に触れられて、鍋がずれ落ち熱湯が左足にかけ火傷をされた。使用者の不注意によりお湯を沸かしていた鍋を落下させた為に火傷を負ったものであり製品に起因した事故ではないと判断された。	無	足を火傷	三重県	当該製品を使用した際に、不注意により、お湯を沸かしていた鍋を落下させたために火傷を負ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-243	2008/07/20	2009/01/14	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	こんろのセンサー側で煮物を調理し終わった後、再度センサー側で点火操作を行ったところ、こんろ後ろとガスの元栓の間から炎が上がり、こんろ下の敷物・壁・換気扇を焼損した。調査の結果当該製品に焼損はなく異常も見られない事から、製品に起因する事故ではないと判断された。	無	無	愛知県	調査の結果、当該製品に焼損はなく、異常も見られないことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-242	2008/06/16	2009/01/14	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	ガス爆発があり、火災が発生し1名が死亡。調査の結果、当該品に異常はなく、焼損状況は外部から焼損したものであることから、製品に起因した事故ではないと判断した。	家屋全焼	死亡1名	岐阜県	調査の結果、当該製品に異常はなく、焼損状況は外部から焼損したものであることから、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-241	2008/06/09	2009/01/14	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	風呂釜が種火の状態での浴室を出た後に出火し、本体及び浴槽を焼損。調査の結果、浴室の排水詰まりのため、風呂釜機器の一部が腐食し、ガス漏れ焼損に至ったもの。取扱説明書で注意表示がなされている行為を繰り返し行ったことから事故に至ったもので製品に起因する事故ではないと判断された。	器具焼損	無	宮崎県	調査の結果、浴室の排水詰まりのため、風呂釜が繰り返し冠水したことにより、機器の一部が腐食し、ガスが漏れ焼損に至ったもの。取扱説明書で注意表示がなされている行為を繰り返し行ったことから事故に至ったもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-240	2008/03/30	2009/01/14	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該品で揚げ物を調理中に出火する火災が発生した。調査の結果、調理油過熱防止装置の付いていない側で調理中に、火をつけたまま放置したことによるものであり、製品に起因した事故ではないと判断された。	半焼	無	富山県	調査の結果、調理油過熱防止装置のついていない側のコンロで揚げ物を調理中に、火をつけたまま放置したことによるものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-239	2008/02/18	2009/01/14	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, 開放式)	加須市にて全焼火災が発生。当該機器からの出火の痕跡は認められず、機器の焼損状態からも内部からの発火によるものではない事から製品に起因する事故ではないと判断された。	家屋全焼	死亡1名 (当該事故起因によるものかどうか不明であるが、事故後亡くなられたもの)	埼玉県	調査の結果、当該機器からの出火の痕跡は認められず、機器の焼損状況も内部からの発火によるものではないことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B2G08-238	2008/12/15	2009/01/08	ガス炊飯器(都市ガス用)	炊飯途中で炊飯器とガスコードの接続部より出火し、ガス栓を閉め消火した。	器具一部焼損	無	大阪府		
A2G08-237	2008/10/22	2009/01/06	ガス炊飯器(都市ガス用)	機器から発火、一部焼損	無	無	埼玉県		
A2G08-236	2008/11/27	2009/01/06	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	修理訪問時に器具内焼損に気づく。ガス漏れは無し。	器具内部焼損	無	東京都		リコール品 (2007/06/09)
B2G08-235	2008/12/11	2009/01/06	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用, BF式)	点火しないとの修理依頼があり確認すると外装ケース変形していた。	器具変形	無	神奈川県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-234	2008/12/03	2008/12/25	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	新築現場にて、コンロ及びキャビネットを焼損した。作業員が消火器により消火した。	キャビネット焼損	無	北海道			
A2G08-233	2008/11/13	2008/12/25	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	ガス衣類乾燥機内で衣類が焦げて乾燥機が使用できなくなった。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われ、当該機種のリコール案件と同様の事象であると判断する。	衣類の溶け	無	東京都			リコール品 (2008/09/09)
B2G08-232	2008/10/27	2008/12/25	カセットこんろ	こんろ使用中にコック部からガス漏れが発生したために点火時の炎が引火し、点火スイッチの一部が溶解してこんろが点火不能になった。	一部破損	無	大阪府			
B1G08-231	2008/12/05	2008/12/25	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該機器のグリルを使用中に、グリルの排気口から出火したため、使用者がタオルで消火した。消防は、グリルを使用中にその場を離れていたところ、グリル庫内の清掃不備により堆積していた油脂に引火したという、使用上の不注意が原因との見解で調査終了。	無	無	兵庫県			
B2G08-230	2008/11/	2008/12/25	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該機器のグリル庫内を手袋をはめずに掃除をして人差し指を切った。取扱説明書では「お手入れは手袋をはめてする。」と注意喚起している。	無	有	大阪府			
B2G08-229	2008/12/05	2008/12/24	ガス迅速継手(都市ガス用)	使用者から『こんろ点火時に横から火が出た』との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、当該こんろの背面にこんろ用のガス栓以外に炊飯器用の予備ガス栓があり、当該予備ガス栓に接続されたゴム管用ソケットの一部が焼損しているのを確認した。 事故原因は、使用者が当該機器を持ち上げた際に機器本体とゴム管用ソケットが接触し接続不良となり、ガスが漏えいし着火したものと推測します。	有	無	神奈川県			
B2G08-228	2008/11/30	2008/12/22	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	給排気筒の施工不備により風の強いときにシャワーを使おうとしたら立消えを起こし、直後に再点火操作をした際に機器内に滞留したガスに引火したもので、施工不備と操作ミスが重なって発生したものと推定されます。	製品一部破損	無	神奈川県			
B2G08-227	2008/11/10	2008/12/22	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	シャワーと台所の2箇所同時に使用中、シャワーを停止したところ、台所の蛇口から熱湯が出てきて右手指に火傷を負った。 台所の湯栓を絞った状態にしてシャワーと同時使用している状態から、シャワーを止めたことにより機器を通過する湯量が減り、バーナーの燃焼量は一定のため、温度が上昇した湯が台所の湯栓から出てきたもので、誤使用による事故と推定されます。	無	火傷	東京都			
B2G08-226	2008/09/05	2008/12/22	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	お客様がグリルを使用して秋刀魚を焼いていた所、食材に火が燃え移ったためグリル扉を引き出し、濡れた布切れを被せ、水をかけて消した。しかし庫内でしばらく燃焼が続き、消火の際に本体グリルとびら上部が焦げた。	製品一部焼損	無	福井県			
B2G08-225	2008/11/30	2008/12/18	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器のグリルを使用中、排気口より出火したため使用者が消火器で消火した。グリルに水を入れずに使用したため、グリル内に残っていた油脂に引火し、グリル排気口から出火したことが原因と推定。	有	無	北海道			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-224	2008/11/20	2008/12/16	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	湯沸し器より火が出て、電池BOXが焼損した。当該機器は需要家が独自に設置したもので、ゴム管を接続する接続具にバッキングが入っており、また接続具の締め込みも十分でなかった為、接続部からガスが漏洩・着火し、電池BOXが焼損したものと推定される。	器具の一部焼損	無	愛知県			
B2G08-223	2008/10/28	2008/12/16	ガス炊飯器(都市ガス用)	炊飯10分～15分位で炊飯器の上にあったタオルが燃えていることに気付き、台所流しで消火。炊飯器を確認すると、つゆ受け部分が焦げていた。	タオル及び製品の 一部焼損	無	京都府			
A2G08-222	2008/11/26	2008/12/09	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、屋外式)	家人より「風呂が沸かない」との連絡により、ガス事業者が現場に出動確認したところ屋外式風呂釜の内部が焼損していた。元栓を閉止し需要家に機器の使用禁止を指示した。	有釜内部焼損	無	長崎県		リコール品 (2007/04/19)	
B1G08-221	2008/11/11	2008/12/09	ガス湯沸器(都市ガス用、業務用)	飲食店の厨房において、当該機器を使用中に機器上部のフード部付近から火が出た。消防は当該機器にガス漏れはなく、長年にわたり機器本体に付着した油脂埃が燃えた。また、原因は使用者の日常の機器のお手入れ不足として調査終了した。	無	無	東京都			
A2G08-220	2008/11/06	2008/12/08	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	需要家がカランを開けた所、屋外の給湯器付近で異音が出た。給湯器が使用できなくなり機器設置場所へ行った所、機器本体より炎が出ていた。消防に連絡し、消防が到着後、花壇散布用のホースで消火した。	無	無	愛知県			
A2G08-219	2008/11/06	2008/12/04	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	点火消火が繰り返された所、機器前面に磁石で貼り付けてあった紙と、60cm離れた換気扇フィルターの焦げ	紙と換気扇フィルターの焦げ	無	東京都			
B2G08-218	2008/11/02	2008/12/02	ガス給湯器(都市ガス用、屋外式)	器具前板カバーの変形	前板カバーの変形	無	大阪府			
A2G08-217	2008/11/09	2008/11/27	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、屋外式)	器具内焼損。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内焼損	無	福岡県		リコール品 (2007/06/09)	
A2G08-216	2008/11/08	2008/11/27	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用、屋外式)	器具内焼損。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内焼損	無	埼玉県		リコール品 (2007/06/09)	
B2G08-215	2008/11/08	2008/11/27	ガスこんろ(都市ガス用、一口)	使用者が当該機器にて鍋料理をした後、テーブルの床が焦げたとの申し入れがあった。弊社の調査で純正部品では異常なく、使用者宅には純正部品ではない、他社のバーナーキャップがあり、そのバーナーキャップでの試験結果では、申し出の現象が確認され、使用者が他社のバーナーキャップを誤使用したと推測。	有	無	大阪府			
B2G08-214	2008/11/11	2008/11/21	ガスファンヒーター(都市ガス用)	通常、点火プラグ部と高圧コードの接続部は、シリコンチューブで絶縁保護されていますが、消防からの情報によりますと、当該機器の接続部には、ビニールテープが巻きつけられおり製品運転時、製品背面から見ると機器内部に赤い炎が見えたとの事です。	器具内 ビニールテープ 焼損	無	兵庫県			
B2G08-213	2008/10/17	2008/11/21	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	使用者がグリルを消し忘れ10分後排気口から煙が出ていたので、布をぬらし排気口にかぶせ消火した。グリルに溜まった油に引火したと推定。消防は出動したが火災にはなっていません。	有	無	愛知県			
B2G08-212	2008/10/12	2008/11/20	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	グリルにて秋刀魚を調理中に出火。現場近くに居合わせた消防団員が濡れタオルにて消火。	製品一部焼損	無	愛知県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G08-211	2008/10/20	2008/11/20	ガスこんろ(LPガス用、組込型)	やかんに水を入れ右バーナーにのせ点火し、その場を離れた約3分後に音がして、グリルが外れ落ち、排気カバー、五徳、バーナーヘッドがずれていた。 ガス漏れ検査を行ったが異常なし。	有	無	愛知県		
B1G08-210	2008/09/04	2008/11/17	ガスこんろ(都市ガス用)	調理油加熱防止装置の付いていないコンロで天ぷら調理中油に火が入った。消費者が濡れた毛布で消火した。消防は使用者の不注意として調査終了。	有	無	三重県		
B2G08-209	2008/10/22	2008/11/11	ガス湯沸器(LPガス用、CF式)	船の厨房室に設置の当該機器より煙が発生、排気筒の設備がない、業務用のこんろ2台の近くに湯沸器が設置されており、湯沸器に付着いた油が燃えたと推定。設置上の問題と推測。	無	無	山口県		
A2G08-208	2008/10/11	2008/11/11	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	使用者より当該機器の中で炎が見えたとの通報でガス事業者が点検、当該機器のケーシングの床面に多量の煮こぼれがあり、著しく腐食していた。ガス通路部の下面とともに、長年により湿潤した状況で錆が進行したと推定。	有	無	千葉県		
B2G08-207	2008/10/01	2008/11/11	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	センサー側の右こんろでおかゆを炊飯するため点火をして、隣室にいたら音がした。次に音がした時こんろ下部に火が見えたので水をかけて火を消してコックを閉めた。こんろ下に敷いた、可燃性の敷物が原因。	有	無	和歌山県		
A2G08-206	2008/09/20	2008/11/11	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	魚焼きグリルを使用中にグリル庫内が燃えた、原因は庫内に溜まっていた油が燃えたと推測。	有	無	佐賀県		
B2G08-205	2008/09/16	2008/11/11	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	ガス事業者の協力業者が当該器具を設置時「ゴム管口」仮付け後、工具での締め付け作業を怠ったため漏洩した少量のガスに点火時の火が着火して、当該機器の下部の一部熱損した。	有	無	神奈川県		
B2G08-204	2008/09/	2008/11/11	ガス給湯器(LPガス用、屋内CF式)	厨房室で目が痛いということで調査したら、換気ダクトが天井内で外れていた、又給湯器の排気筒が換気ダクトに接続されており設置基準に不適合の設置であった。	無	無	神奈川県		
A2G08-203	2008/10/26	2008/11/10	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、開放式)	器具を点火した所、底部及び側面から一瞬炎が上がり左腕に軽度の火傷をした。	無	火傷(軽症)	富山県		
A2G08-202	2008/08/17	2008/11/10	ホースガス栓(LPガス用、二口)	コンロを使用しようとして二口ガス栓の内、誤ってガスこんろに接続されていない側のガス栓を開けてしまい、漏洩したガスにこんろの火が引火(推定)し火傷。火傷は、ガス栓を閉止時にする際にガステーブルの火によるものと思われる。	無	火傷	千葉県		
A2G08-201	2008/10/03	2008/11/07	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	器具内部のガスパイプ腐食によりガス漏れ引火し器具焼損した。	器具焼損	無	東京都		
B2G08-200	2008/10/16	2008/11/07	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	機器の前面と側面のパネルが変色し、機器内部の一部が焼損した。修理時、ガス2次圧検知ロビスを意識せずに誤って外し、取り付け忘れたことにより、機器使用時漏出したガスが引火したものと推定する。	有	無	埼玉県		
B1G08-199	2008/10/14	2008/10/30	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	左側コンロ(安全装置無し側)で天ぷら油を加熱中にトイレに行き戻ったところ、鍋から火が出ていたので慌てて冷凍ポテトを鍋に入れ、器具栓でガスを止めた。 天井及び換気扇周りを焼損。	器具一部焼損 天井・換気扇一部焼損	無	京都府		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
A2G08-198	2008/03/29	2008/10/30	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	ガス衣類乾燥機で衣類(Tシャツ2枚)を乾燥したところ焦げた。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類の焦げ	無	東京都			リコール品 (2008/09/09)
A2G08-197	2008/03/08	2008/10/30	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	ガス衣類乾燥機を使用中に臭いがしたため、機器を確認したところ煙が出て停止していた。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類の溶け	無	埼玉県			リコール品 (2008/09/09)
A2G08-196	2008/01/18	2008/10/30	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	ガス衣類乾燥機を使用後、洗濯物を取り出したところ、シャツと靴下が焦げていた。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類の溶け	無	東京都			リコール品 (2008/09/09)
A2G08-195	2008/01/02	2008/10/30	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	ガス衣類乾燥機を20分程度使用した後、焦げ臭いので使用を停止した。事故原因は、衣類乾燥中に発生する静電気の影響により機器に搭載しているマイコンが誤動作し、モーターが停止した状態でバーナーの燃焼が継続することにより、ドラム内の温度が上昇し、衣類の一部が焦げたものと思われる。	衣類の溶け	無	神奈川県			リコール品 (2008/09/09)
A2G08-193	2008/10/03	2008/10/27	ガスふろがま(LPガス用)	ダイヤフラムよりガス洩れ	無	無	大阪府			リコール品 (2007/04/19)
B2G08-192	2008/09/23	2008/10/27	ガス迅速継手(都市ガス用)	・使用者が、こんろの付近の掃除をした後、こんろの点火動作をしたところ、ガス栓付近で「ボン」という着火音がし、ゴム管ソケットの一部が焼損した。 ・事故推定原因は、化粧板に手をのせた状態で清掃を行ったため化粧板が歪み、ゴム管用ソケットのロックが外れて接続不十分となり、その状態に気づかずガス栓を開いた為、少量のガスが漏洩して、こんろ点火時の炎で着火したものと推測。	ゴム管ソケットの一部焼損	無	東京都			
B2G08-191	2008/07/29	2008/10/22	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	グリルで魚を調理中、グリル扉を開けた際に、グリル扉のガラス部分が外れて、手の親指を火傷した。	機器一部破損	1名火傷	宮城県			
A2G08-190	2008/09/21	2008/10/21	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用、BF式)	シャワー使用中、異常音がして機器の一部が焼損した。シャワー側ノズルホルダーが腐食し、腐食部から少量のガス漏れを確認。湯温調節つまみ軸のバックinghamが長期使用の間に硬化したことによってシール性が低下し、機器本体にかかった水等が、つまみ軸より機器内部へ侵入したことでノズルホルダーが腐食しガス漏れとなり、バーナ炎が引火したことにより機器の一部を焼損したものと推測。	機器一部焼損	無	埼玉県			
A2G08-189	2008/09/09	2008/10/21	ガスオープン(LPガス用)	当該機器を使用中に火が消えていたので再点火したところ、爆発着火をして顔、髪を焼いた。機器に異常は認められなかった。また、当該機器は立ち消え安全装置の無いもので(25年前に製造)、点火時、または点火後何らかの原因で途中失火して生ガスが出ている状況で再点火をしたと推測。	無	火傷 (軽傷)	静岡県			
B2G08-188	2008/07/30	2008/10/21	ガス湯沸器(都市ガス用、開放式)	ガス事業者が消費機器の定期保安調査の際に7年間不使用の当該機器を発見し、調査のためガス栓を開いて機器を点火したところ、当該機器と接続部の間からガスが漏れ出し当該機器及び窓枠の一部を焼損した。	有	無	大阪府			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-187	2008/07/11	2008/10/15	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	木造2階建て住宅から出火し、1階台所と2階の一部約45平方メートルを焼き、隣人の方が消火活動の際、ガラスで足に軽いけがを負った。(1名)	約45m焼損	1名負傷	山形県		
B1G08-186	2008/10/01	2008/10/14	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	使用者が天ぷら調理中にその場を離れたところ油が発火し火が天井に燃え移った。消防は、使用者が当該機器の調理油過熱防止装置の付いていない側のこんろで天ぷらを調理中にその場を離れ火災に至ったという、使用者の不注意が原因として調査終了したとのこと。また、当該機器には起因しないとの見解であった。	有	無	山形県		
A2G08-185	2008/09/11	2008/10/14	ガスこんろ(LPガス用, 組込型)	就寝中、煙と臭いで異常に気づき確認したところ、ビルトインコンロの右側操作パネル部が燃えており、手でたいて消火した。	製品焼損	無	兵庫県		
B1G08-184	2008/07/10	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器を使用中、ヒューズガス栓付近より突然炎があがり、壁の一部を焦がした。当該機器がヒューズガス栓とゴムホースの接続部の近くにあり、ゴムホースがこんろの火に熱せられる状況にあったとのこと。消防は、当該機器に不備はなく、取付上または使用上の誤りが原因として調査終了したとのこと。	有	無	北海道	当該製品がガス栓とゴムホース接続部の近くにあって、ゴムホースがこんろの火に熱せられて溶け、ガスが漏洩して引火したものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-183	2008/07/03	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	使用者が当該機器にてロウを溶かしていたところ出火し、壁1mが焦げ、使用者が軽い火傷を負ったとのこと。消防は、使用者がロウを溶かすという目的外使用、また、火にかけたままその場を離れたことが原因として調査終了したとのこと。	有	有	滋賀県	当該機器には不備はなく、事故原因は、使用者が当該機器で調理中、鍋に火をかけたままその場を離れている間に出火し、火災に至ったもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-182	2008/06/16	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	消防によると、調理油過熱防止装置のついていない当該機器で天ぷら鍋を火にかけたまま、その場を離れていた間に出火したとのこと。消防は、使用者の不注意が原因として調査終了。	有	無	徳島県	当該機器には不備はなく、事故原因は、使用者が調理油過熱防止装置のついていない当該機器で天ぷらを調理中、火をかけたままその場を離れたため出火し、火災に至ったもので、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-181	2008/06/15	2008/10/10	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	消防によると、使用者が当該機器右こんろにてお湯を沸かした後、こんろを消すつもりでグリルを点火したことにより、グリル排気口に固着していた油かす等に着火し炎があがった。消防は、使用者が間違っってグリルを点火し、そのまま放置したという不注意が原因として調査終了。	有	無	広島県	当該機器の右側こんろを使用後、こんろを消火するつもりで誤ってグリルを点火したことに気づかず放置したことにより、グリル排気口に固着していた油かす等に着火した偶然性が高く、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-180	2008/06/09	2008/10/10	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該機器を使用中、そばに置いてあった殺虫剤の缶が爆発し、右耳及び首の右側に火傷を負ったとのこと。消防は、当該機器に不備はなく、使用者の不注意が原因との見解で調査終了。尚、取扱説明書には、「機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない」と注意喚起をしている。	無	有	大阪府	事故原因は、使用者が、当該機器付近にエアゾール缶(殺虫剤)を置いていたことにより、エアゾール缶が過熱し、爆発した偶然性が高いことから、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-179	2008/06/03	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器の調理油過熱防止装置のついていない側のこんろで天ぷら調理中、火を消し忘れ、台所付近が燃える火災が発生した。消防は、使用者が火を消し忘れたことが原因であり、当該機器に問題はなかったとみて調査中。	有	無	福岡県	当該機器には不備はなく、事故原因は、使用者が当該機器で天ぷら調理中、火を消し忘れたため火災に至った事故であり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-178	2008/06/01	2008/10/10	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	グリルで魚を調理中、その場を離れている間に出火し、当該機器周辺を焼損したとのこと。消防は、当該機器に不備はなく、当該機器の下に敷いてあった新聞紙と、機器の底面との間に異物が付着しており、グリルを使用中に異物が発火したものであり、使用者の使用不注意が原因と推定し、調査終了。	有	無	大阪府	当該機器には不備はなく、事故原因は、使用者が当該機器で調理中、その場を離れている間に出火し、火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-177	2008/07/24	2008/10/10	ガス栓(都市ガス用)	店舗従業員が業務用炊飯器を使用するため当該機器に接続されているガス栓を開放し点火しようとしたが着火しないため、強化ガスホースが機器に接続されていないガス栓を当該機器用ガス栓と思い込み開放した。当該機器を再点火させたところ着火したため、引続き業務用めんゆで器を点火しようと点火ライターを操作したところ小爆発が発生(本人談)、操作していた従業員1名(35歳男性)が軽度の火傷を負った。	火災あり	1名 軽度の火傷	岡山県	炊飯器(業務用)に点火するためガス栓を開放する際、誤って炊飯器に接続されていないガス栓(未使用栓)を操作し開放したことによりガスが漏洩し、他の調理を行うためバーナーに点火作業をした際に漏洩していたガスに引火・爆発したものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-176	2008/06/15	2008/10/10	ガス衣類乾燥機(都市ガス用)	日焼けサロンで洗濯後のタオルを乾燥機に入れ、約10分経過後、庫内のタオルが燃えていた。オイルを使用している事から衣類に残留していたオイル分が酸化発熱し自然発火したものと判断される。	庫内の タオル焼損	無	大阪府	事故原因は、オイルが付着したタオルを乾燥し、放置したことによりタオル等に残留しているオイルが酸化熱により発火した事故で、取扱説明書にはオイルの付着した衣類等は絶対乾燥機に入れないよう記載しており、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-175	2008/05/18	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用、組込型)	グリル付きこんろを使用したところ誤ってガスを漏洩させ、漏洩したガスに引火して2名が火傷(軽傷)を負った。 原因は、グリルの故障にきずかず点火操作をおこなったことにより、ガスが漏洩し、ガス警報機がなった際、止めようとして誤ってこんろを点火してしまったため、漏洩したガスに引火し事故に至った。	無	有	岐阜県	故障しているグリルの点火操作を行ったことによりガスが漏洩し、鳴り出したガス警報器を止めようとして誤ってこんろに点火してしまったため、漏洩したガスに引火したものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-174	2008/04/02	2008/10/10	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、屋外式)	当該機器付近で火災が発生し、器具及び配管部分が焼損。 器具及び電装基板に発火痕跡は見られない事から、火災原因としては、器具付近に立て掛けてあった「よしず」が排気口からの熱の繰り返しにより低温発火を起こし、火災事故に至ったものと判断される。	器具一部焼損	無	熊本県	調査の結果、当該製品に立てかけられていた可燃物が、排気口からの熱で発火したものと判断した。	
B1G08-173	2008/03/15	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	調理後にグリルを消し忘れて火災が発生し、台所付近の壁を焼損した。	台所付近の壁を 焼損	無	大阪府	調査の結果、当該機器には不備はなく、使用者が当該機器のグリルで調理中、火を消し忘れたため出火し、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-172	2008/03/05	2008/10/10	ガスこんろ(LPガス用、業務用)	調理中にゴミ受けから出火した。従業員が119番通報し、消防士が水を掛けて消火した。油カス、食材カスが大量に付着していた為に調理中に引火したものであると思われる。清掃不足が原因と思われる消費者に注意喚起した。	製品の焼損	無	神奈川県	調査の結果、調理中に火の付いた食材がバーナー間のすき間から下に落ち、油受け皿に溜まった油に引火し、火災に至ったものと判断した。	
B1G08-171	2008/02/25	2008/10/10	ガスふろがま(都市ガス用、CF式)	入浴中に倒れた奥様をご主人が発見し、消防に連絡したところ、死亡が確認された。 警察が死因を調査したところ、CO中毒であることが確認されたため、ガス事業者に通報された。 なお、当該建物は外壁塗装工事中であり、風呂釜室の給気口がビニールシートで養生(閉塞)されていた。	無	1名死亡	愛知県	調査の結果、当該製品は一次排気筒が外れて隙間ができており、さらに当該現場の建物は塗装工事中であり、給気口等がビニールシートで覆われていた。その結果、不完全燃焼が生じ、一酸化炭素中毒に至ったもので、塗装工事の際の作業不良と判断した。	
B1G08-170	2008/02/20	2008/10/10	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	湯沸器を使用していない状況で、湯沸器周辺より炎があがり、機器中央部操作ボタン部より炎が天井付近まで達し、使用者が消火器を使用して消火した。 ・所轄消防署の見解は、こんろの火が、湯沸器の湯出口管に掛けてあったタオルに燃え移り、湯沸器に類焼した事故との判断。	有	無	愛知県	調査の結果、事故当時、当該製品は使用されていなかった。外火による類焼と判断した。	
B1G08-169	2008/02/19	2008/10/10	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用、屋外設置型)	ユニットバスの照明器あたりからパチパチという音が聞こえ、ユニットバスの裏側で何かが燃え、壁の内側や間柱の一部が焼損した。リモコンコードは焼損していたが、リモコンと器具は本体は焼損していない。	壁の内側や間柱 の一部が焼損した	無	愛知県	調査の結果、当該機器の焼損は、当該機器が外部の火で熱せられたものであることが判明した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-168	2008/02/08	2008/10/10	ガスふろがま(LPガス用, CF式)	追い焚きをしているときに、洗濯機の排水を浴室へ流していたら、ふろがまの前面及び操作部が焼損。 洗濯機の排水を浴室に流しながら追い焚きをしており、消防が出動した時点でも製品が1cmほど水没していたことから、ノズル部の水没によりバーナー部の外で燃焼し機器の焼損に至ったものと推測される。(消防署も同様の見解)	機器一部焼損	無	福島県	調査の結果、当該製品の底部が冠水した状態で追い焚きをしたことから、バーナーに流れるべきガスが、機器内上方へ流れたため、パイロットノズルの火が引火したものと判断した。	
B2G08-167	2008/09/11	2008/10/09	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用, RF式)	修理訪問時に前面パネル変形に気づいた。	器具前面パネル変形	無	千葉県		
B2G08-166	2008/07/22	2008/10/06	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	使用者が右こんろ(調理油過熱防止装置なし)にやかんをのせ湯を沸かしている間に右こんろ下部付近から火が出た。弊社で調査した結果、当該機器の外側右奥方向に炎があり、そこから当該機器に炎が吹付けられ、その炎の一部が機器の下部の隙間から内部に入り込み点火装置を過熱したと推測する。	有	無	北海道		
B2G08-165	2008/08/26	2008/10/03	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	温度センサー側のこんろで天ぷら調理中、小火にならず過熱し、なべから煙が出た。	無	無	広島県		
B2G08-164	2008/07/02	2008/10/03	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	機器は長期間の使用により、内部で水漏れが発生して、点火機構や燃焼ファンが正常に作動しない状況であり、また漏電ブレーカーが作動する等で、正常に使用できない状況であったにも関わらず、修理せずにリモコン操作を繰り返すなどでお客様が使用し続けたため、偶発的に異常着火し、前板が歪んで外れ、本体側面もわずかに歪んだ。 お客様の誤使用と判断する。	有	無	奈良県		
B2G08-163	2008/02/01	2008/10/03	ガスファンヒーター(都市ガス用)	ガスコード(迅速継手)で接続すべきところ、器具用コンセントソケットを機器のガス接続口に取り付け使用したため、当該接続口からガスが漏れ、漏れたガスが機器内部に吸引され、引火・機器一部焼損に至った。 ガス会社指定のガスコードを使用しなかった、お客様の誤使用。	有	無	大阪府		
B2G08-162	2008/01/23	2008/10/03	ガスファンヒーター(都市ガス用)	ガスコード(迅速継手)で接続すべきところ、ゴム管を機器のガス接続口に直接差し込んで使用したため、当該接続部からガスが漏れ、漏れたガスが機器内部に吸引され、引火・機器一部焼損に至った。 ガス会社指定のガスコードを使用しなかった、お客様の誤使用。	有	無	大阪府		
B2G08-159	2008/08/04	2008/09/30	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	需要家から「風呂釜点火時にボンと音がしてガラスが割れた」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、浴室ドアのガラスと窓ガラスが破損し、当該機器の前面カバーと排気筒の一部が変形しているのを確認した。 風呂釜使用中に操作つまみを「止め」の位置まで戻す直ぐに給湯または追焚きの位置に回したが、立ち消え安全装置が作動するまでの間はメインノズルからガスが噴出しており、その状態でしばらく放置した後点火ハンドルを回したため機器内に滞留したガスに着火したものと推定されます。	機器外観一部変形 浴室窓およびドアのガラス破損	無	千葉県		
B2G08-158	2008/07/22	2008/09/30	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	協力会社から「需要家の依頼で機器交換した風呂釜に焼損した痕があり、機器内部に水が溜まっていた」との連絡を受け、ガス事業者が確認したところ、当該機器内部の配線が焼損しており点火つまみの一部が溶解しているのを確認した。需要家に確認したところ、浴室の排水口が詰まっており当該機器が冠水していることに需要家が気付かず点火操作を行ったため、バーナーから溢れた未燃ガスが機器内に滞留し異常燃焼したものと推定される。	製内一部破損	無	山梨県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-157	2008/07/03	2008/09/30	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	水を張り風呂を点火し、数分後器具から煙が立ち上がっていることに気づき、急いでガス元栓を閉めた。機器上面、操作部樹脂が熱変形し、内部が一部焼損状態だった。調査した結果、風呂側のノズル取付け部(マニホールド)の蓋の取付けネジが緩んでおり、隙間からガスが漏れていることを確認した。事故前日の7月2日に修理が行われており、その際ノズル部一式を取外していること、取付けネジには異常ないこと、および修理直後に事故が発生しているから、修理時に無意識にネジに触れてしまったことが原因と推定されます。	製内一部破損	無	愛知県			
B2G08-156	2008/06/15	2008/09/30	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	給排気トップから侵入した木の葉が、偶然バーナー入口部に入り込んだため、ノズルからバーナーへガスが正常に供給されず、バーナー部の炎が溢れたガスに引火し、その後、溢れた炎により水抜栓の一部が損傷したものと推測。	製内一部破損	無	千葉県			
B2G08-155	2008/01/01	2008/09/30	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	浴室の排水不良により機器が冠水した状態で使用されたために一時的に炎あふれの状態となってリード線や防滴カバーの一部が焦げ、また樹脂製水抜き栓つまみが熱により損傷したもので、誤使用による事故と推定されます。	製内一部破損	無	東京都			
B2G08-154	2008/09/08	2008/09/29	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	グリルで秋刀魚2匹を焼いていたところ、グリルタイマーで燃焼は止まっていたが、排気口より炎が上がりを水をかけた為、より大きな炎になり消火器をかけて消火した。	製品一部破損	無	三重県			
A2G08-153	2008/09/04	2008/09/29	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	お客様宅の卓上こんろのグリル下付近から出火し器具内部を焼損。	製品一部破損	無	長崎県			
B2G08-152	2008/08/24	2008/09/29	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	お客様が、グリルで魚を焼いており、消し忘れた為に、グリル庫内火災が発生。	製品一部破損	無	京都府			
B2G08-151	2008/09/17	2008/09/25	ガスふろがま(LPガス用、浴室設置CF式)	お客様が点火操作を繰り返したところ、器具近辺で燃焼し火傷した。	無	火傷2名	千葉県			
B2G08-150	2008/08/29	2008/09/25	ガス給湯器(都市ガス用、屋内型FE式)	器具前面カバーが焼けて一部黒く変色した。	器具前面カバー 熱変色	無	東京都			
B1G08-149	2008/08/25	2008/09/25	ガス湯沸器(業務用)(LPガス用、CF式)	使用者からの修理依頼(出湯初めに熱い湯が出る、等)を受け当該機器を点検中、湯栓を止めても火が消えない状態になり、当該機器上方の左右給気口から炎が溢れた。消防で原因調査中。	有	無	熊本県			
B2G08-148	2008/07/18	2008/09/24	ガスレンジ(コンビネーション)	電子レンジ機能でご飯を温めていて2~3分後に、コンビネーションレンジ周りキッチンとの隙間から煙が出てきたため、直に器具を停止させた。(発煙はマグネトンの発振不具合と判明)	無	無	東京都			
B1G08-147	2008/10/24	2008/09/24	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	木造2階建て住宅から出火して約100㎡を全焼し、家人1名が死亡した。	家屋全焼	1名死亡	山口県			
A2G08-146	2008/08/25	2008/09/24	ガスふろがま(LPガス用、BF式)	給湯部でシャワーを使用したら熱湯が出て太ももの裏側に軽度のやけどを負った。	無	火傷 (軽傷)	山形県			リコール品(1992/03)
B1G08-145	2008/06/25	2008/09/24	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	木造2階建て住宅から出火して、1階台所など約80㎡を焼いた。	家屋焼損	無	山形県			
B2G08-144	2008/04/15	2008/09/18	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	お客様が点火操作を繰り返したところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	東京都			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G08-143	2008/01/16	2008/09/17	ガスストーブ(都市ガス用、赤外線)	需要家から「(ガスストーブの)変な所からガスが出て引火した」との連絡があり、ガス機器販売店が確認したところ、当該機器本体の外面が焼損しているのを確認した。また、当該機器にはガスコードを使用して接続すべきところ、需要家によりゴム管を直接接続し、ゴム管止めもなかったことから、当該接続部からガスが漏えいし着火したものと推定される。詳細調査中。	器具一部焼損	無	大阪府		
B2G08-142	2008/03/30	2008/09/17	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	お客様が点火操作を繰返したところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	東京都		
B2G08-141	2008/08/25	2008/09/16	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、BF式)	お客様が点火操作を繰返したところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	千葉県		
B2G08-140	2008/02/03	2008/09/16	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、RF式)	排気口を屋根から落ちた雪がふさいだ状態で点火操作したため爆発着火した。	器具のフロントカバー変形	無	埼玉県		
B2G08-139	2008/08/08	2008/09/10	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	グリル使用時に、消火しようとしたところ、ボタンが作動せずガス元栓を閉めて消火した。	無	無	兵庫県		
B1G08-138	2008/06/16	2008/09/09	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	調理油過熱防止装置の付いていない、小こんろで食用油(天ぷら油)を使用して調理していた使用者が、こんろを消し忘れてその場を離れたため、火災となり壁面の一部が焼損した。	有	有(軽傷2名)	神奈川県		
B2G08-137	2008/08/23	2008/09/03	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	家人の母親が当該機器のコンロを点火したまま外出中に、当該機器付近より出火しているのを帰宅した家人が発見し、消火器にて消火した。当該機器、ゴムホース、ガス栓、換気扇及び蛍光灯が焼損したとのこと。ガス供給業者によると、家人の母親が当該機器にて油調理中に消火をせずに外出したという、取扱不注意が原因とのこと。尚、消防・警察への通報はなし。	有	無	東京都		
A2G08-136	2008/08/09	2008/09/03	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	10日程前から使用できなかった。給湯器で浴槽に落とし込み使用していた。毎回風呂スイッチが入るか試していた。3日程前から異臭がしていたようだ。午前0時頃風呂に入り、その後排水した。8月9日、朝5時頃から異臭がしていた。8時頃、風呂釜から火が出ているのを家人が見つけた。ガス会社に通報した。	有(釜焼損)	無	奈良県		リコール品 (2007/04/19)
B2G08-135	2008/06/21	2008/08/25	ガスオープン(都市ガス用)	お客様が調理を行う為予熱をした所、機器より異臭がし、気分が悪くなり、救急車を呼んだが、たいした事がなく、病院には行かなかった。施工者が誤って他社の接続キットを使用した為にCOが発生したと考えられる。	無	無	兵庫県		
B2G08-134	2008/08/01	2008/08/22	ガス給湯器(LPガス用、FE式)	ガス一次検出部よりガス微量もれ。2週間前にサービス訪問した際にネジ締め付け不足だった。	無	無	神奈川県		
A2G08-133	2008/07/18	2008/08/21	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用、屋外設置型)	器具内焼損。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内焼損	無	茨城県		リコール品 (2007/06/09)
A2G08-132	2008/07/30	2008/08/19	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、屋外式)	家人が入浴中に熱いお湯が出て右足太股を火傷した。水圧応動装置(水ガバナ)の経年的な劣化によるものと推定する。	無	有	神奈川県		
B2G08-131	2008/07/14	2008/08/13	ガス炊飯器(LPガス用)	炊飯器使用時に本体から炎と煙が溢れたとの連絡。製品にガス漏れ等の異常は無く、釜底の焼損痕より、可燃物が残されたまま、誤って炊飯器をセットされたものと推測される。	炊飯器一部焼損 隣接して置かれていた電気ポットも一部焼損	無	埼玉県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-130	2008/07/12 知	2008/08/11	ガス給湯器(都市ガス用, RF式)	器具のケースと前蓋変形(家の壁面塗装工事の養生シートで機器が覆われたまま機器を使用したと推測される)	機器変形	無	大阪府			
A2G08-129	2008/07/17	2008/08/11	ガスレンジ(都市ガス用)	器具が勝手に誤動作した為、お客様がブレードを落とし、ガスコックを止めた。	無	無	兵庫県			
B2G08-128	2008/07/15	2008/08/11	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	シャワーを使用しようとして湯を出したところ風呂釜内で異常着火し機器が変形した。	機器変形	無	岐阜県			
A2G08-127	2008/07/17	2008/08/07	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用, 屋外設置型)	器具内焼損。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内焼損	無	大阪府			リコール品 (2007/06/09)
B2G08-126	2008/07/06	2008/08/05	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	・器具は温度調節ができず高温のお湯が出る不具合を認識しながら水を混ぜて継続使用していた。 ・上記の状態でシャワー使用中、給湯栓と給水栓を間違えてあけて、背中に高温のお湯が掛かり、軽いやけどを負った。	無	有	京都府			
B2G08-125	2008/07/01	2008/08/05	ガス栓(LPガス用)	コンロを使用していたところ、ガスオープン部のガス栓の取り付け部から炎があがった。原因としてはオープン側から接続されていた迅速継手型接続具がガス栓の接続部分から外れかかっていた為、そこからガスが漏れ一口コンロの火が引火したと推測される。	ガス栓のツマミ部の一部焼損	無	神奈川県			
B1G08-124	2008/06/27	2008/07/31	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	鉄筋コンクリート3階建ての住宅の3階約70平方メートルが焼けた。消防は、調理油過熱防止装置の付いていない当該機器で天ぷら調理中に、消し忘れたことが原因として調査終了したとのこと。尚、当該機器に不備はなかったとのこと。	有	有	東京都			
A2G08-123	2008/07/05	2008/07/29	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	右こんろを使用し、やかんで湯を沸かしていてこんろの火が衣類に燃え移って死亡した。警察の調査で製品は問題なし。	無	有	北海道			
B1G08-122	2008/06/02	2008/07/29	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	調理油過熱防止装置のついていないこんろで天ぷら油を調理中に居眠りをし、気付いたときに台所で出火した。	74㎡延焼	無	北海道			
A2G08-121	2008/04/23	2008/07/29	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	グリルで油の多い鮭を調理していたが、忘れて長時間放置したままとなり、炎が出て左こんろ上に置かれていた油の入った鍋に引火したと推定される家屋全焼火災事故。警察、消防とも製品に原因しないとの見解。	有	無	北海道			
B2G08-120	2008/01/	2008/07/25	ガス給湯器(都市ガス用)	お風呂の追い焚きをしても沸かないので、パイプシャフト内の給湯機を確認すると、排気筒が腐食していた。	他社製品の排気筒が腐食	無	東京都			
B2G08-119	2008/04/	2008/07/24	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該機器の点火ボタンが戻らず、消火できないとの連絡があり、調査したところ当該機器の点火ボタン部に多量の煮こぼれの付着が確認できた。これにより点火ボタンが固着して不具合が生じたものと推測する。	無	無	兵庫県			
B2G08-118	2008/05/19	2008/07/16	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)ガス迅速継手(都市ガス用)	・予備ガス栓にゴム管(ゴム管用ソケット付)を接続して使用中に、ガスこんろを使用したところ予備ガス栓付近より出火した。使用者が水をかけて消火をおこなった。 ・ガスこんろよりのガス漏洩事故ではなく、迅速継手のシール部へ異物が噛み込み、ガスが微量に漏れ、こんろバーナーの炎より引火したと推測します。	製品の一部分焼損	無	奈良県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
A2G08-117	2008/06/11	2008/07/14	ガス炊飯器(都市ガス用)	炊飯セット数分後に焦げくさい臭いに家人が気付 付き、炊飯ボタン付近より炎が見えた為、ガス栓 を閉止しガスを止めた。	器具一部焼損	無	大阪府			
B1G08-116	2008/06/21	2008/07/10	ガスこんろ(都市ガス用、卓上 型)	使用者が調理油過熱防止装置の付いていない 側のこんろで天ぷら調理中、その場を離れてい た際に煙が出ていることに気が戻ったところ、 出火していたとのこと。消防は、使用者の不注 意が原因であり、当該機器に不備はなかったと して調査終了したとのこと。	不明	有	東京都			
B1G08-115	2008/03/04	2008/07/10	ガスこんろ(LPガス用、卓上 型)	調理中の火が誤って着衣に引火し、延焼したも ので製品に起因する事故ではないと判断され た。	室内55㎡全焼	死亡1名	静岡県	調査の結果、当該機器には不備はなく、当該機器で調理中に誤って着衣に引火したものと 思われ、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G08-114	2008/06/21	2008/07/04	ガスこんろ(都市ガス用、卓上 型)	木造2階建てのメゾネットタイプのアパート3世帯 の一部を焼いて、約1時間後に鎮火した。消防 は、当該機器の調理油過熱防止装置のついて いない側のコンロで天ぷら調理中に、消し忘れ たことが原因であり、機器に不備はなかったと して調査終了したとのこと。	有	有	静岡県			
B1G08-113	2008/06/10	2008/07/04	ガスこんろ(都市ガス用、組込 型)	こんろ使用中に、こんろ上に蓄積された油粕に こんろバーナーの炎が引火し、使用者が消火し ようとして水をかけたため、炎が天井付近まで 達し、拡大被害となった。	有	無	千葉県			
A2G08-112	2008/06/23	2008/07/02	ガス給湯暖房機(都市ガス 用、屋外式)	お客様から修理依頼があり、機器の前面カバー が一部変形し給湯用ファンの羽根が割れている ことを確認した。	有	無	東京都			
A2G08-111	2008/04/05	2008/07/02	ガス給湯暖房機(都市ガス 用、屋外式)	お客様から修理依頼があり、機器の前面カバー が一部変形し給湯用ファンの羽根が割れている ことを確認した。機器内部にガス漏れはなかつ た。	有	無	東京都			
A2G08-110	2008/06/12	2008/07/02	ガス給湯器付ふろがま(都市 ガス用、屋外設置型)	リモコンの電源が入らなくなった。ガス事業者が 交換商品を確認したところ電装部の一部が焦げ ていた。	器具内部焼損	無	神奈川県			リコール品 (2007/06/09)
B1G08-109	2008/06/	2008/07/01	ガスこんろ(都市ガス用、組込 型)	・マンションでボヤがあり、キッチンの上の、火災 警報機が作動して、消防が出動した。 ・使用者の話によると、こんろの強火バーナーを 使用して料理していたところ、そのまま寝てし まった。 ・消防の現場到着時には、料理していた物は焦 げ炭化した状態であった。 ・事故原因の消防見解は、使用者の使用誤り。 ・当該機器で揚げ物調理中に台所より出火し全 焼に至った。 ・事故原因は、調理油加熱防止装置の無い方 のバーナーを使用して揚げ物調理中に、調理油 の入ったなべを火にかけたまま、その場を離れ た使用者の誤使用。	有	無	東京都			
B1G08-108	2008/05/25	2008/06/30	ガスこんろ(LPガス用、卓上 型)	給湯器を使用して揚げ物調理中に台所より出火し全 焼に至った。 ・事故原因は、調理油加熱防止装置の無い方 のバーナーを使用して揚げ物調理中に、調理油 の入ったなべを火にかけたまま、その場を離れ た使用者の誤使用。	有	無	福岡県			
B1G08-106	2008/04/27	2008/06/27	ガス栓(都市ガス用)	ガス栓の誤解放により、着火し、換気扇及び網 戸の一部を焼失。	有(火災)	無	三重県	使用者が当該機器で調理中、2口ガス栓のうち何も接続されていないほうのガス栓を誤 って解放したことにより漏れたガスに引火し火災に至ったと思われ、使用者の誤使用による 事故であると判断した。		
B1G08-105	2008/04/06	2008/06/27	ガスふろがま(LPガス用、BF 式)	給排気トップ近くにあったタオルが焦げた。 トップと、可燃物であるタオルとの離隔距離が確 保されていなかった事が原因。	タオル及び室外 機の一部を焼損	無	山口県	当該機器に不備はなく、事故原因は、エアコン室外機上部に置かれていたタオルが風等 により隣接している当該機器の排気筒にかかり、輻射熱等により発火したものと 思われ、製品に起因する事故ではないと判断した。		
B1G08-104	2008/03/27	2008/06/27	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、 屋外式)	給湯器を使用中、爆発音が出火。消防見解で は、給湯器接続に使用されていた樹脂製絶縁 継手の劣化クラックによるガス漏れが原因。	給湯器の一部が 焼損	無	神奈川県	当該機器とガスホースを接続していた樹脂製絶縁継手に劣化によるクラック(ひび割れ) があったことから、ここからガス漏れが生じたと思われ、当該機器には起因しない事故と 判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-103	2008/03/26	2008/06/27	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	・グリル使用中に、グリル排気口より約10cm炎が出た。使用者が消火器を使用して鎮火させた。 ・グリル庫内に付着していた魚油等にグリルバーナーの炎が引火して発生したと思われる。 ・事故原因の消防見解は、機器起因ではなく、コンロの上に燻製器を載せて、1.5時間ほど使用したところ、2名が軽度のCO中毒。消防見解は、二次空気不足により不完全燃焼を起こし、換気していなかった事も重なり発生したものと推測。	製品の一部焼損	無	北海道	事故原因は、使用者が、グリルの日常の清掃を怠っていたためグリル庫内全体に付着していた魚油等にグリルバーナーの火が引火したものと認められ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-102	2008/03/22	2008/06/27	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	・グリル使用中に、グリル排気口より約10cm炎が出た。使用者が消火器を使用して鎮火させた。 ・グリル庫内に付着していた魚油等にグリルバーナーの炎が引火して発生したと思われる。 ・事故原因の消防見解は、機器起因ではなく、コンロの上に燻製器を載せて、1.5時間ほど使用したところ、2名が軽度のCO中毒。消防見解は、二次空気不足により不完全燃焼を起こし、換気していなかった事も重なり発生したものと推測。	無	軽度のCO中毒(2名)	東京都	当該製品には、上面のバーナー部分の全面を覆うように自家製の箱型燻製器が取り付けられていたため、燃焼空気が不足し不完全燃焼が起こったものと思われる。取扱説明書ではコンロを覆う鉄板類や補助用具の使用は禁止されており使用者の誤使用と判断した。	
B1G08-101	2008/03/19	2008/06/27	ガスファンヒーター(LPガス用)	点火後、焦げ臭いことに気がつき、ファンヒーター吹出口から火が見えた為、すぐに水をかけ消火。消防見解は、網巻きラセン管からガスが漏れファンヒーターに吸込まれ発火したものであるとの事。	器具焼損	無	静岡県	調査の結果、当該機器にガス漏れ等の不備はなく、当該機器に接続されているガスホースのゴム管バンドの締め付けが不十分であったため、ガスが漏れ、引火したものと認められ、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-100	2008/03/08	2008/06/27	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, RF式)	当該機器を使用中、異臭に気がつき確認すると、当該機器の排気口前方に施工されていた冷凍機用配管が燃っていたため消火した。原因は、当該機器設置から約3年後に施工された冷凍機用配管が、当該機器排気口との離隔距離を守らず施工したことによる施工ミスであった。	冷凍機用配管の保温材一部損傷	無	長崎県	調査の結果、当該機器には不備はなく、事故現場には当該機器排気口の前方に離隔距離を取らずに冷凍機用配管が施工されていたため、当該機器の排気が配管の保温材に当たり保温材が燃ったものと思われる。冷凍機設置の際の施工不良による事故と判断した。	
B1G08-099	2008/02/03	2008/06/27	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	店舗兼住宅を全焼する火災が発生。消防見解は低温発火による火災であり、器具に問題ないとのこと。	全焼	無	福島県	当該機器に不備はなく、当該機器と後壁との離隔距離不足の状態で使用していたことにより、ベニヤ板が炭化し低温発火をおこし火災に至ったと思われる。製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-098	2008/02/01	2008/06/27	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	台所にて爆発事故があり、台所付近の窓等一部を破損。警察より器具の鑑定は必要なしとの回答を頂く。	窓等一部破損	無	秋田県	調査の結果、当該機器に不備はなく、台所で使用していた石油ファンヒーターの前にカセットこんろ用ガスボンベが置かれていたことから、ボンベが過熱により爆発したものと認められ、製品に起因しない事故と判断した。	
B1G08-097	2008/01/05	2008/06/27	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	浴室でシャワーを使用中、熱いお湯が出てきて胸に火傷を負った。	無	火傷	東京都	調査の結果、当該製品に故障等の異常は見られず、急に高温の湯が出ることはなかった。また、現地での試験でも確認をしたが、異常は見られなかった。	
B1G08-096	2008/03/18	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	アルミ鍋をこんろにかけたまま、消し忘れて、外出したため火災に至った。	家屋全焼	無	岩手県		
B1G08-095	2008/04/22	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	需要家が調理油過熱防止装置のない当該機器で天ぷら調理中に火出し、台所の天井や壁など約7平方メートルを焼いた。消防は、当該機器に不備はなく、使用者の消し忘れが原因として調査終了。	有	無	青森県		
B1G08-094	2008/04/06	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	需要家が当該機器の左こんろ(調理油過熱防止装置なし側)で天ぷら調理中、目を離している間に油に引火し燃え広がり、木造2階住宅のうち、台所と2階洋間部分18平方メートルを焼いた。けが人はなかったとのこと。消防は、使用者が天ぷら調理中にその場を離れたという不注意が原因であり、当該機器に不備はなかったとの見解で調査終了したとのこと。	有	無	茨城県	当該機器には不備はなく、事故原因は、使用者が当該機器で天ぷら調理中、目を離している間に油に引火し火災に至ったものと思われる。使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-093	2008/04/02	2008/06/26	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	需要家が当該機器のグリルで魚を調理中にその場を離れている間に火出し、店舗兼住宅のうち1階厨房の天井など約5平方メートルが燃えたとのこと。消防は、当該機器に不備はなく、使用者のグリルの消し忘れが原因として調査終了。	有	無	東京都	当該機器に不備はなく、事故原因は、使用者がグリルで魚を調理中にその場を離れたことにより火災に至ったと思われる。使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-092	2008/03/24	2008/06/26	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	当該機器の真下に可燃物があり、左側のこんろを使用中に引火したとのこと。消防は、当該機器に不備はなく、使用者の取扱不注意が原因として調査終了したとのこと。	有	無	埼玉県	当該機器に不備はなく、当該機器の真下にゴム手袋等の可燃物が置かれたままコンロを使用したことにより、可燃物に引火し火災に至ったと思われる。使用者の不注意による事故であると判断した。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-091	2008/02/05	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用)	木造2階建て住宅と隣接する木造2階建ての店舗を全焼した。 消防によると、需要家がグリルを消し忘れたことにより、水受け皿に溜まっていた油脂等に引火し火災に至ったとの見解で調査終了したとのこと。	有	無	岩手県	調査の結果、当該機器には不備がなく、使用者がグリルで調理中に火を消し忘れたことにより、清掃不良により水受け皿に溜まっていた油脂などに引火し火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故と判断した。	
B1G08-090	2008/02/05	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	消防によると、ガスこんろ下の床付近の焼損が激しく、また通常と異なる使い方をしていたこともあり、何らかの火種が床に落ち、床にあった可燃物等に引火して火災に至ったとの見解で、当該機器に問題はなかったとして調査終了したとのこと。	有	有	愛知県	調査の結果、当該機器には不備がなく、濡れた衣服を当該機器で乾かしている際に衣服に引火し火災に至ったものであり、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-089	2008/02/02	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	住宅の1階部分が焼け需要家が気道熱傷を負った。 消防によると、需要家が当該機器の奥に手を伸ばした際に、コンロの火が衣服に引火し、脱ぎ捨てられたその衣服が火元となり火災に至ったとの見解で、器具に問題はなかったとして調査終了したとのこと。	有	有	広島県	調査の結果、当該機器には不備がなく、使用者が当該機器の奥の窓に手を伸ばした際に誤って体が機器の点火ボタンに触れ、コンロの火が衣服に引火し、脱ぎ捨てられた衣服が火元となり火災に至ったものと思われ、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-088	2008/02/01	2008/06/26	ガスこんろ(都市ガス用、一口)	鉄筋9階建て雑居ビルの7階の一室から出火し、約40平方メートルのうち約3平方メートルを焼いた。 消防によると、需要家が当該機器を使用中に周辺にあった可燃物に引火したとして、機器そのものに原因はなかったとの見解で調査終了した。	有	有	大阪府	調査の結果、当該機器には不備がなく、使用者がコンロで調理中に当該機器周辺にあった可燃物に引火し火災に至ったものと思われ、製品に起因する事故ではないと判断した。	
B1G08-087	2008/01/20	2008/06/26	ガスこんろ(LPガス用、型式不明)	木造2階建て住宅約240平方メートルを全焼した。 消防によると、需要家がグリルを使用したまま、消し忘れて外出したことが火災に至った原因であり、機器に異常はなかったとの見解である。	有	不明	群馬県	調査の結果、当該機器には不備がなく、使用者がグリルで調理中に火を消し忘れたまま外出したことから火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B2G08-086	2008/05/15	2008/06/24	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	フライパンに油を900ccぐらい入れ、火にかけたところ、柄の方に傾いて油がこぼれ、台所マットが一部溶けた。 フライパンを五徳から大きくズラして使用された事が主原因であると考えられる。	マットが一部溶けた	無	千葉県		
A2G08-085	2008/05/07	2008/06/18	携帯用ガスバーナー(LPガス用)	使用中に火口部が脱落し、脱落した火口を素手で拾い上げたため火傷を負った。	無	火傷	不明		リコール品 (2008/05/31)
B1G08-084	2008/05/20	2008/06/17	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	・湯沸器下部付近の壁と湯沸器背面の壁、約2㎡の焼損および換気扇に焼損の跡が見られた。 ・事故発生時、現場は無人で当該器具は未使用の状態であった。 ・所轄消防署にて原因を調査中。	有	無	大阪府		
B2G08-083	2008/05/25	2008/06/12	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、BF式)	お客様が点火操作を繰返したところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	福島県		
B1G08-082	2008/05/23	2008/06/04	ガスこんろ(LPガス用、型式不明)	需要家が調理油過熱防止装置のついていないこんろで揚げ物調理中に、その場を離れている間に出火したとのこと。消防及び警察は、当該機器に不備はなく、消し忘れが原因として調査終了したとのこと。	有	無	愛媛県		
B1G08-081	2008/04/28	2008/06/04	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	センサー無し側のコンロにて天ぶら油火災発生。「天ぶら油を火にかけたまま、外で花の手入れをしていた」とのお客様証言があることから、火を着けた状態でその場を離れたことにより出火した火災であると推測。	木造二階建て住宅約200平方メートル(全焼)と東隣の米屋倉庫の一部約25平方メートルを焼損	軽傷1名	愛知県		
B2G08-080	2008/05/23	2008/06/03	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用、BF式)	お客様が追い焚きからシャワーにしたところ、音がして機器が変形した。	機器変形	無	東京都		
A2G08-079	2008/05/13	2008/06/03	ガス給湯器(LPガス用、屋外設置式)	給湯器の前面パネルに穴が開き炎がアフレた。	給湯器のみ	無	神奈川県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
A2G08-078	2008/05/06	2008/06/03	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用, BF式)	お客様が点火操作を繰り返したところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	東京都			
B2G08-077	2008/04/24	2008/05/28	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, 開放式)	・湯沸器の点火が悪いため数回点火操作を繰り返したところ器具の排気口から炎が出た。 ・湯沸器内に滞留した未燃ガスに着火したと推定されます。 ・点火動作の不具合は、器具内に侵入した油分によるものと推測します。	無	無	埼玉県			
A2G08-076	2008/04/29	2008/05/26	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	当該機器の梱包用ダンボールの上部を開き、機器の前面と後面の下端に両手を掛け機器を上に取り出そうとしたところバランスをくずし機器をすべらせた、その際に機器後面下端で人差指の先を裂傷した。当該機器の受傷した部位は、機器を持ち上げる際の安全対策として下端面にU状に折返しを付けている。機器の重心を外した状態で持上げたと推測する。	無	有 (裂傷)	熊本県			
B2G08-075	2008/04/18	2008/05/26	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	湯沸器を使用中、突然水になった。再点火を行い、再度使用しようと試みたが、まったく作動しなかった。また、本体右横の給気部が煤けている事が確認された。	無	無	広島県			
B2G08-074	2008/01/10	2008/05/26	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	ガスビルトインコンロ使用中に異音と共にガラス天板が割れた。使用中に異音と共にガラス天板が割れたとの情報と、バーナー支えが下方向に変形していることから、突沸現象により天板上面より下方向に非常に強い衝撃が加わり、ガラス天板の割れに至ったものと推測。	コンロガラス天板 破損	無	兵庫県			
A2G08-073	2008/03/12	2008/05/21	ガス瞬間湯沸器(LPガス用, 屋外式)	代替給湯器に取替え時に、故障した給湯器の器具ケーシングの背面に焼痕跡を発見。	有	無	広島県			過去のリコール対象品 (1990/04)の未点検品
B2G08-072	2008/04/10	2008/05/15	ガスこんろ(都市ガス, 組込型)ガス迅速継手	・予備ガス栓にゴム管(ゴム管用ソケット付)を接続して使用中に、ガスこんろを使用したところ予備ガス栓付近より出火した。使用者が消火器を使用して消火をおこなった。 ・ガスこんろよりのガス漏洩事故ではなく、迅速継手のシール部へ異物が噛み込み、ガスが微量に漏れ、こんろバーナーの炎より引火したと推測します。	製品の一部焼損	無	京都府			
A2G08-071	2008/04/27	2008/05/14	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用, RF式)	屋内が停電したので調査したところガス器具内部が焼損していたのを発見した。	器具のみ	無	長崎県			リコール品 (2007/06/09)
B2G08-070	2008/04/11	2008/05/07	ガス迅速継手(都市ガス用)	・使用者がこんろの使用前に掃除をして、こんろの使用を始めた。使用中にガス栓付近で火がついてゴム管ソケットの一部が焼損した。 ・事故原因は、使用者がこんろを掃除をされた時に、こんろ後面で偶然にゴム管ソケットをガス栓に押し付けた状態になり、ゴム管ソケットの摺動リングが押され、ロックが解除された。通常、ソケットのロックが解除され、ガス栓から離脱すると、ヒューズコックが作動してガス漏れは起こらないが、こんろ後面がゴム管ソケットに当たった状態になっていたことから、ソケットがガス栓から完全に離脱しない不完全な接続状態で保持され、接続部で微量漏れが発生し、こんろバーナーの炎より引火し焼損に至ったと推測します。	ゴム管ソケットの 一部焼損	無	東京都			
A2G08-069	2008/04/11	2008/05/02	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用, 屋外設置型)	使用中にドンという音がして外装のフロントカバーが変形した。	器具のフロントカ バー変形	無	埼玉県			
B2G08-068	2008/04/10	2008/05/02	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用, BF式)	お客様が点火後本火にしたところ、音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	器具変形	無	神奈川県			
B2G08-067	2008/04/03	2008/05/02	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用, BF式)	着火異常によりケーシングが変形した。	器具変形	無	千葉県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B1G08-066	2008/02/18	2008/04/30	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	天ぷら油火災が発生し、台所の壁の一部が焦げた。消防に確認したところ、お客様が天ぷら油を処理する為に油を温め、火を着けた状態でその場を離れたことにより、出火した火災であり、器具は問題ないとの見解でメーカーには連絡しなかったとの事。	壁の一部が焦げた	無	宮城県			
B2G08-065	2008/04/05	2008/04/25	ガスファンヒーター(都市ガス用)	ご使用して5分程して、ガスファンヒーター裏側から一瞬炎が見えたため、ガス栓を止め消火。	機器一部 焼損	無	東京都			
B2G08-064	2008/04/04	2008/04/24	ガス迅速継手(LPガス用)	車庫内で、ガスこんろに焼き芋器を載せて使用し、芋を焼き始めた。点火を確認して、その場を離れ、約20分後、爆発音のような音がし、コンロの火は消えていたが、ゴム管用ソケットが一部焼損し、外壁がこげていた。事故の原因は、ソケットを取り付けたゴム管の維持管理の不備と思われる。	製品の焼損と外 壁の一部変色	有	千葉県			
B1G08-063	2008/03/20	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	需要家が調理油過熱防止装置のない当該機器のコンロで揚げ物調理中に、鍋から出火したため慌てて毛布を被せて火を消し、その際に軽い火傷を負ったとのこと。消防は、機器自体には問題はないとの見解で調査中。	有	有	愛媛県	当該機器に不具合はなく、使用者が、揚げ物調理中に鍋から出火したと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G08-062	2008/02/27	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	木造平屋の住宅1棟約85平方メートルと、隣接の木造2階建て店舗付き住宅1棟約140平方メートルを全焼した。けが人はなかったとのこと。消防及び警察は、当該機器の調理油過熱防止装置なし側のコンロに、天ぷら鍋をかけたままその場を離れた間に出火したとのことで、機器に不備はなく需要家の消し忘れが原因として調査終了したとのこと。	有	無	鹿児島県	当該機器に不具合はなく、使用者が、天ぷら鍋をかけたまま、その場を離れた間に出火したと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G08-061	2008/02/21	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	木造2階建て住宅から出火し、1階台所の内壁と外壁の一部約7平方メートルを焼いた。けが人はなかったとのこと。消防に確認したところ、当該機器のグリルを使用して、火をつけたままの状態を外出したという需要家の証言もあり、機器自体に問題はなかったとの見解で、今後機器についての調査はしないとのことであった。	有	無	静岡県	使用者が、グリルで調理中、火を消さないまま外出したことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G08-060	2008/02/20	2008/04/23	ガスこんろ(都市ガス用)	需要家が当該機器コンロで揚げ物を調理中に、天ぷら油に引火したため消火器で火を消したとのこと。消防は機器に問題はなかったとの見解で調査終了したとのこと。	有	無	京都府	当該機器に不具合はなく、使用者が、揚げ物調理中に油に引火したと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G08-059	2008/02/16	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	木造平屋建ての母屋95平方メートル他、計4棟約250平方メートルを全焼、けが人はなかったとのこと。消防に確認したところ、需要家が当該機器のコンロで調理をしていて消し忘れをし、その場から離れていたことが原因であり、機器に不備はないとの見解で、機器についての調査は終了したとのことであった。	有	無	鹿児島県	使用者が、こんろの火を消さないまま台所を離れたことにより火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		
B1G08-058	2008/01/16	2008/04/23	ガスこんろ(都市ガス用)	需要家によると、調理の為当該機器の右コンロを点火し、その場を離れ隣の部屋に居たところ、約30分後に焦げ臭いにおいとパチパチという音に気づき、台所を見に行ったら火が出ていたとのこと。当該機器を調査したところ、グリルのツマミが全開の状態になっており、受け皿には炭化した燃えかすが残り、グリル排気カバーも変形していた為、実際には需要家が右コンロを着けたつもりが誤ってグリル側を着け、そのまま消し忘れたという状況があつて、水受け皿に溜まっていた油脂等に引火し火災に至ったのではないかと判断された。	有	無	富山県	使用者が、グリルの火を誤って点火させ、火を消さないまま、その場を離れて別室にいた間に火災に至ったものと思われ、使用者の不注意による事故であると判断した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G08-057	2008/01/01	2008/04/23	ガスこんろ(都市ガス用)	消防は、使用者が当該機器でお湯を沸かそうとした際、コンロの火が衣服に燃え移ったとして、使用者の誤使用で機器に不備はなかったとの見解であった。	不明	有	東京都	当該機器に不具合はなく、使用者が、コンロでお湯を沸かす際、誤ってコンロの火が着衣に着火したと思われる、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-056	2008/02/21	2008/04/23	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	・右こんろパーナーでお湯を沸かしていたところ、グリルの排気口より炎が高さ10cm幅20cmにわたりでいた。 ・簡易消火器にて消火活動をおこなった。 ・所轄消防署の事故原因についての見解は、使用者のお手入れ不足と操作ミス。(右こんろパーナーを点火するときにグリルの点火ボタンも一緒に押ししてしまったと思われる。)	機器内一部焼損 (消火活動にてこ んろ下部に設置し ていたオープンが 故障した)	無	福井県	使用者が、右コンロに点火する際、グリルの点火ボタンも一緒に押ししまったことから、清掃不良で魚油等が付着していたグリルから火災に至ったものと思われる、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-055	2008/03/19	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用、組込型)	当該機器の右(大)パーナーで、すじ肉を煮込んでおり、消し忘れにより、一戸建てが全焼。消防としては消し忘れによる失火とみており、器具を調査した結果でも、ガス漏れ等異常なし。	家屋全焼	無	滋賀県	当該機器に不具合はなく、使用者が、コンロの火を消し忘れたことにより火災に至ったものと思われる、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-054	2008/02/09	2008/04/23	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	グリルで魚を調理中に10分程その場を離れ、戻った時にはグリル内が赤くなっていたのでグリル扉を開けたところ、約20cm程度の炎が上がった。 消防署にて状況の再現確認調査が行われたが、グリル庫内の汚れが酷く、手入れ不足により引火しやすい状態にあった。 返却器具調査に於いてもガス漏れ等異常なし。	器具およびキャビ ネット周囲の焼損	無	新潟県	使用者が、グリルで調理中、火を消さないまま、その場を離れている間に、グリル庫内の堆積した油脂に引火し火災に至ったものと思われる、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-053	2008/01/18	2008/04/23	ガスストーブ(都市ガス用、赤外線)	赤外線ストーブの上にハンガーラックが倒れ、衣類が覆い被さり、器具の上部・衣類・じゅうたん焼損。 消防見解は、器具起因ではなく、使用者ミスとの事。	器具上部焼損、 衣類焼損・じゅう たんの一部焼損	無	愛知県	当該機器には不具合はなく、使用者がストーブを消火せずに外出し、不在中にストーブの横にあったハンガーラックが何らかの原因で倒れ、衣服がストーブの上に落下したことにより火災に至ったと思われる、使用者の不注意による事故であると判断した。	
B1G08-052	2008/01/15	2008/04/23	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	ガスコンロ使用時、突然本体後方で火が出て、ガスコック及び換気扇の一部を焦がした。 器具調査結果に於いて、ガス漏れ等異常なし。	ガスコック及び換 気扇の一部焼損	無	北海道	消防で「火災」として取り扱っていないことが確認されたため、重大製品事故には該当しないと判断した。	
B2G08-051	2008/04/02	2008/04/18	ガス給湯器(LPガス用、屋外設置式)	器具排気口から黒煙と炎が出た。	前板カバー汚損	無	神奈川県		
A2G08-050	2008/02/23	2008/04/18	ガス給湯暖房機(LPガス用、屋外式)	検針時にガス漏れがあるとの通報により調べた所、マンメーターで4mmH2O/3分の降圧があり、ガスコンを交換した。	無	無	千葉県		
B2G08-049	2008/01/10	2008/04/17	ガス暖房用熱源機(都市ガス用、屋外設置式)	床暖房中に床材(大理石)が破損した。	床材の損傷	無	香川県		
A2G08-048	2008/03/25	2008/04/16	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、屋外式)	給湯器内部で爆発着火が発生し、前板が変形した。	器具本体一部変 形	無	愛知県		
B2G08-047	2008/03/04	2008/04/14	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	・台所で水洗いをしていたところ、ガス瞬間湯沸器内部の部品が燃えながら溶け落ちた。 ・事故品には異常がない事と、事故はガス機器を使用していない時に発生している事より、当該事故原因は製品起因ではないと判断いたします。	製品の一部焼損	無	愛知県		
B2G08-046	2008/03/29	2008/04/14	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	浴槽を排水した際に機器が冠水した状態で使用されたために一時的に炎あふれの状態となってリード線や防滴カバーの一部が熱により損傷したもので、誤使用による事故と推定されます。	機内一部焼損	無	東京都		
A2G08-045	2008/04/06	2008/04/11	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用、RF式)	器具内焼損。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	器具内焼損	無	長崎県		リコール品 (2007/06/09)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-044	2008/03/27	2008/04/10	ガスふろがま(LPガス用、CF式)	・機器に点火し種火の状態であったふろがまが焼損した。 ・使用者がガス元栓を閉じ消火した。 ・別途工事の施工不良により機器が破損、破損箇所からの漏洩ガスが種火により着火し、焼損事故に至ったと推測。	機器焼損	無	奈良県			
B2G08-043	2008/02/16	2008/04/10	ガス給湯器(都市ガス用、屋外壁掛型)	・お風呂に入ろうとして本人が、機器の浴室リモコンの、『ふろ自動』スイッチを押し、ふろの準備を行った。ふろが沸いたので、入浴しようとして湯を注いだところ、浴槽に溜まったお湯の温度が高く、熱傷を負った。 ・熱傷の状態は、左足の大腿部からふくらはぎの一部。(水ぶくれは無い状態)	無	有	大阪府			事故原因は施工ミスと使用者の誤操作と思われる
B2G08-042	2008/03/25	2008/04/10	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、開放式)	器具を使用したところ、上部の吊戸棚の樹脂が溶けて垂れ下がり、火災になりかかった、とのお客様からの情報。	戸棚樹脂部分の溶け	無	京都府			
B1G08-041	2008/03/17	2008/04/10	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、屋外式)	需要家から「住宅の電気ブレーカーが落ちて、お湯が出ない」との通報を受け、ガス事業者が確認したところ、当該機器の前面カバーの一部が変形しており、機器内の機器用電気ブレーカー部分が焼損しているのを確認した。	器具一部変形及び焼損	無	東京都			
B2G08-040	2008/03/04	2008/04/03	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	お客様よりガスが出ないとの通報を受け確認したところ、こんろ内部の配線保護カバーの焼損と、点火機構部周辺の熱による変色を確認した。コンロ周辺にはアルミ箔が覆っており、器具内部にもぐりこんだ未燃ガスに引火したものと見ている。	コンロ内部の焼損および熱による変色	無	神奈川県			
B1G08-039	2008/02/16	2008/04/02	ガストーチ(LPガス用)	洋菓子店で当製品(トーチ)を使用中、ガスが漏れ炎上した。使用者は軽微なやけどと消化器の消炎剤を吸って気分が悪くなったため2時間ほど横になり、その後仕事に復帰した。やけどの程度は未確認。	消火器使用で販売できなくなった洋菓子	軽微のやけど(未確認)	兵庫県			
A2G08-038	2008/02/27	2008/03/31	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、BF式)	お客様が点火したところ、大きな音がしてふろ釜のケースが変形した。	器具変形	無	千葉県			
B1G08-037	2008/02/14	2008/03/28	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	コンロにて調理中にグリル排気口付近に堆積していたと思われる油脂分に引火し、近くにあった衣服で消火する際に、更に延焼し火災となった模様。	約39mの焼損	無	岐阜県			
B2G08-036	2008/03/02	2008/03/27	ガスファンヒーター(都市ガス用)	ファンヒーター使用中、後方より煙が出てガス臭がした、と消費者から、東京NITE様に連絡が入り製造会社にて原因調査。 何らかの原因で対流ファンの起動が悪くなり、機器内部が高温になり安全装置作動の間、煙が発生した。又、機器内には多量の埃が付着していた。	無	無	千葉県			
A2G08-035	2008/03/01	2008/03/25	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	需要家が湯沸器を使用中に異常着火し、近くにあったカーテンを焼損した。	カーテン焼損と、台所床マット及び床板の部分焦げ	無	愛知県			
B1G08-034	2008/02/21	2008/03/19	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	コンロにて天ぷら調理中に火災が発生し、需要家が火傷を負った。過熱防止装置の付いていないバーナー側で天ぷら調理をしていたとの事。	ガスコンロおよび上方の壁を損傷した	火傷	愛知県			
B2G08-033	2008/01/08	2008/03/19	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	当該機器左コンロで30分ほど炒め調理をし、消火した後約10分経過時に「パチパチ」という音に気が付き確認したところ、機器の左側下部から炎が出ていたとのこと。 現品を調査した結果、機器にガス漏れ等の異常は認められず、ガス台の上に何らかの火種が存在しており、焼損に至ったのではとの推測をしたが、原因の特定はできなかった。	無	無	神奈川県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B2G08-032	2008/01/02	2008/03/19	カセットこんろ	1)土鍋を使用して調理していたところ、1時間後位で炎が上がった。 2)再現試験の結果、当該こんろ及びボンベからのガス漏れは発生しなかった。 3)考えられる原因としてはボンベ接続部に異物等が挟まりガス漏れが発生した可能性が考えられる。しかし、今回その異物が確認できなかった。	無	無	神奈川県			
B1G08-031	2008/02/29	2008/03/18	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	消防によると、需要家が調理油過熱防止装置なし側のコンロで揚げ物調理中に、その場を離れたことが原因で火災に至ったとし、機器に問題はなかったとの見解で調査終了とのこと。	未確認	未確認	京都府			
B2G08-030	2008/02/15	2008/03/18	ガスこんろ(LPガス用、組込型)	需要家によると、当該機器コンロでお湯を沸かしていたところ、コンロ部からの発火に気が付き、消火器で火を消したとのこと。現品にはガス種変更をした履歴があり、検証した結果、ガス種変更時の部品脱着不備によりガス漏れが生じ、引火したのではないかと判断したが、原因の特定までには至らなかった。	有	無	高知県			
A2G08-029	2008/03/07	2008/03/18	ガスバーナ付ふろがま(都市ガス用、RF式)	22時頃家人が入浴中、屋外から「ボン」と大きな音がしたので追い焚きを中止した。翌8日、風呂のスイッチを入れたが点火せず、電池交換しても点火しなかった為3月9日、サービスに修理依頼した。3月10日、サービス店が機器を確認したところ機器内部の配線が焼損していた。	有 釜内部焼損	無	神奈川県			リコール品 (2007/04/19)
B1G08-028	2008/01/11	2008/03/18	ガスファンヒーター(都市ガス用)	消防から「ガストーブ(ガスファンヒーター)から出火した」との連絡があり、ガス事業者が確認したところ、ガストーブとゴム管及び床の一部が焼損しているのを確認した。ガストーブとゴム管の接続部が激しく焼損していることから、接続部から漏れしたと見られるガスにガストーブの火が引火し焼損したものと推定される。当該機器に使用すべき迅速継ぎ手付きのゴム管は使われていなかった。(絹巻きラセン管)	有 機具一部焼損及び 床の一部 焼損	無	群馬県	当該機器に、接続禁止されている接続具を使用したため、接続部からガスが漏れ、漏れたガスに引火したものと思われることから、使用者の誤使用による事故と判断した。		
B2G08-027	2008/03/11	2008/03/17	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、屋外式)	お客様が点火後本火にしたところ、「ボン」と音がしてふろ釜のケースが膨らんだ。	有 器具変形	無	神奈川県			
A2G08-026	2008/03/09	2008/03/17	ガス給湯器付ふろがま(LPガス用、屋外式)	使用者よりガス会社に修理依頼が入り、訪問したところフロントカバーが変色していた。家屋等への拡大被害は有りませんでした。	無	無	埼玉県			リコール品 (2007/06/09)
A2G08-025	2008/02/02	2008/03/17	ガスファンヒーター(都市ガス用)	需要家から「ガストーブ使用中に煙が出た」との連絡を受け、ガス事業者様が確認したところ、当該機器内部の一部が焼損しているのを確認した。	有 器具の 一部焼損	無	東京都			
B1G08-024	2008/02/29	2008/03/13	ガスこんろ(ガス種不明、組込型)	こんろに鍋をかけたままその場を離れたため、中の水分が蒸発し肉が発火して、器具の周りに被害があったとのこと。	有	無	京都府			
B1G08-023	2008/01/08	2008/03/13	ガスこんろ(ガス種不明、組込型)	天ぷら油の処理をするため、調理油過熱防止装置の付いていないこんろで加熱中、来客がありそのまま放置し、小火に至った。	有	無	徳島県			
B2G08-022	2008/02/21	2008/03/13	ガスふろがま(都市ガス用、CF式)	ゴム管焼損	有 (ガス管焼損)	無	山形県			
B1G08-021	2008/03/02	2008/03/13	ガスこんろ(都市ガス用、組込型)	グリルを連続使用し消火を確認後、数分後にグリル内部よりの白煙に気が付き、グリル内部を覗いたところ受け皿部分全体の発火を確認。火を消そうとしているうちに炎が大きくなり、コンロ上部からも炎が上がったため、消防に連絡すると共に、消火活動を行った。消防見解は、使用者のお手入れ不足が原因による事故。	有	無	愛知県			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G08-020	2008/02/27	2008/03/13	ガスオープン(都市ガス用)	・高等学校でオープンを使用した料理実習をしていた。 ・オープンの点火ツマミを押しまわして、点火確認し、オープンドアを開けて使用していたが、その後10～15分後ガス臭くなり、再度オープンのドアを開けながら、点火操作をしたところ、ボンと音がしてオープン庫内から熱風が吹き出して軽度の火傷を負った。(赤くなる程度)	無	有	東京都		
B1G08-019	2008/01/06	2008/03/11	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	使用者が当該機器でミルクポットに油を少量入れて揚げ物調理中、来客のためその場を離れた間に出火し、住宅が全焼した。消防は、当該機器に不備はなく、使用者の取扱不注意が原因として調査終了したとのこと。	有	有	京都府		
A2G08-018	2008/02/26	2008/03/10	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、屋外式)	18時頃家人が風呂のスイッチを入れたところ一旦は点火したが、再度スイッチを押しても表示も点火もしなくなった。翌27日に、JA殿が機器を確認したところ機器内部の配線が焼損していた。	有(釜内部焼損)	無	長崎県		リコール品 (2007/04/19)
B1G08-017	2008/02/17	2008/02/29	ガスこんろ(LPガス用、卓上型)	グリル部を清掃後に乾燥目的で点火したが、そのまま消し忘れたため火災となった。	ガスコンロおよび換気扇フード、ガス栓を損傷	無	福岡県		
B1G08-016	2008/02/15	2008/02/29	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	ガスコンロにて煮物を調理中、気が付いたら煙が出ていた。消防の話では、キッチン壁面に張ってあるステンレス板の裏側の可燃物炭化による低温火災との事。	キッチン壁面の焼損	無	千葉県		
A2G08-015	2008/01/27	2008/02/29	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、屋外式)	給湯使用中に、ベランダ設置の器具排気口より火が出た。その事で、物干し竿の一部と、ベランダの天井を焦がしたとの事。	物干し竿の一部と、ベランダの天井を焦がした	無	東京都		
A2G08-014	2008/01/24	2008/02/27	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、開放式)	点火の際に、ポットと異常着火した。本体後部の網戸が焦げたとのこと。	器具後方にあった網戸が焦げた	無	佐賀県		
B2G08-013	2008/01/16	2008/02/26	ガス給湯器付ふろがま(都市ガス用)	PSアルコーブ設置型の当該機器の排気トップ排気口付近で、PS金枠の不燃性コーキング材の一部が変色したとのこと。 調査の結果、経年使用(使用約10年)によって、ファン風量の低下と燃焼生成物のフィン部への付着、詰まりが進行したことに加え、点検等がなされていないことにより燃焼不良となり、未燃ガスが排気口から出て、燃焼室内から出た炎により、排気口付近のコーキング材の一部が変色したものと推測した。尚、コーキング材および機器周辺の材質は不燃性であり、拡大被害に至る危険性はないと判断した。	無	無	宮城県		
B1G08-012	2008/02/12	2008/02/25	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	ビル店舗内でダクト火災があり、ダクト付近1㎡焼損。 ダクトの下に湯沸器があり、今回調査対象となったもの。	ダクト内火災	無	大阪府		
A2G08-011	2008/01/31	2008/02/14	ガスバーナ付ふろがま(LPガス用、屋外式)	19時頃、家人が入浴の為風呂釜に点火、途中エラーコードが点滅したが風呂は沸きあがっていたのでそのまま入浴した。21時頃、需要家本人が入浴しようとした時、浴室の窓が赤く見えたので外に出て確認、需要家本人が消火器で消火した。釜内部のみ焼損した。	有(釜内部焼損)	無	千葉県		リコール品 (2007/04/19)
A2G08-010	2008/01/31	2008/02/13	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	追焚スイッチを入れたところ循環口から熱い湯が出てきて右足のふくらはぎ部を軽度の火傷をした。	無	有(火傷)	兵庫県		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
B1G08-009	2008/01/31	2008/02/13	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	消防によると、需要家が当該機器の調理油過熱防止装置なし側のコンロで餅を揚げていて、その場を離れ目を離れた間に鍋から出火し、火を消そうとしかぶせた布団から燃え広がったと見て、原因は需要家の不注意であるとし、機器の調査は終了したとのこと。	有(住宅全焼)	無	長野県			
B1G08-008	2008/01/25	2008/02/12	ガスファンヒーター(都市ガス用)	需要家がガスストーブ(ガスファンヒーター)の調子を点検した後、しばらく席を外し再度同部屋に戻り照明を点けたところ、小爆発が発生し窓ガラスが破損、ふすま等が焼損する事故が発生した。当該機器に使用すべき迅速継ぎ手付きのガスコードを使用せず、ゴム管を直接接続していたことから、需要家が点検した際に当該機器とゴム管の接続部が外れ、漏えいしたガスが照明機器点灯の際の電気火花により着火したものと推定される。	器具一部焼損・窓ガラス破損・襖焼損	額に軽度の火傷	山形県			
B1G08-007	2008/02/01	2008/02/07	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	使用者によると、当該機器のグリルで魚を焼いたのち隣の部屋に居たところ、機器より火が上がっていたとのこと。消防及びガス事業者は、使用者がグリルを消し忘れたことにより、日常の清掃不良でグリル受け皿に溜まった油脂等に引火し、火災に至ったとの見解で一致している。	有	無	埼玉県			
B1G08-006	2008/01/28	2008/02/06	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	グリルで魚を焼いていて、その場を離れ、戻ってきたら排気口より炎上しており、消火器で消火した(焼いている魚が真っ黒で燃えていた)。換気扇がすすけた程度で、その他の被害なし。[消防よりの情報]	換気扇 スス汚れ	無	山形県			
B2G08-005	2008/01/12	2008/02/05	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	鍋料理を行い、しばらく過熱した後、点火スイッチを「閉」にしてコンロの火を消したとたん、悪臭と黒煙が発生し、発火した。すぐにガスの元栓を締め、お客様ご自身で水をかけ消火を行なう。ガスコンロ点火スイッチ横のプレート部分に焦げ穴があいた。器具にガス漏れはなく、ホースエンドに接続したゴム管の何らかの不具合と思われる。	器具焼損	無	兵庫県			
B2G08-004	2008/01/10	2008/01/29	ガスファンヒーター(都市ガス用)	需要家から「ガスストーブ(ガスファンヒーター)の調子が悪い」との連絡を受け、ガス機器販売店が持ち帰り調査したところ、当該機器背面ゴム管接続部上方とその内部が焼損しているのを確認した。その後、当該機器を引き取ったガス事業者が調査したところ、当該機器に使用すべき迅速継ぎ手付きのゴム管を使用せず、ゴム管を直接接続していたことから、当該機器とゴム管の接続部から漏えいしたガスが機器内部に吸引され着火したものと推定される。	器具一部 焼損	無	大阪府			
A2G08-003	2008/01/02	2008/01/25	ガス給湯器(LPガス用, 屋外式)	お湯を使用中に屋外で音がしたため器具を見てみると、排気口より火が見えた。また、器具の上方にある出窓のガラスに微細なヒビがあることに気がついた。熱交換器に煤が付着し不完全燃焼を起こしたものと推定。	窓ガラスに被害あり	無	岐阜県			
B2G08-002	2008/01/05	2008/01/22	ガスファンヒーター(都市ガス用)	需要家から「ファンヒーターから出火」との連絡を受け、ガス機器販売店が当該機器を引き取った後、ガス事業者が確認した所、当該機器背面の一部及び内部配線等の焼損を確認した。また当該機器とゴム管とは、接続具(迅速継手)を用いて接続すべきところ、需要家により、ゴム管を直接接続しゴム管止めもされていないことが確認されており、当該接続部より漏えいしたガスがファンヒーター内部に吸引され引火し焼損に至ったものと推定される。	器具一部 焼損	無	大阪府			

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	事故公表日	品名	事故内容	被害状況		事故発生 場所	経済産業省 の調査結果	製品事故判定第三者委員会	備考
					物的被害	人的被害				
A2G08-001	2008/01/01	2008/01/17	ガスこんろ(都市ガス用, 組込 型)	自宅で組込型グリル付3口こんろの奥こんろを 使用中に、こんろの点火ツマミ付近から火が出 たとガス事業者に連絡があった。ガス事業者 が、点火ツマミと操作パネルの一部が焼損して いる事を確認した。	器具一部 焼損	無	千葉県			無償点検実施 (2007/03)

注:

・B2G08-107 ⇒ A1へ移行(08.08.22)

・B1G08-160 / B1G08-161 ⇒ A1へ移行(08.10.06)

・B1G08-194 ⇒ A1へ移行(08.11.10)

・発生年に合わせ管理番号を変更し移動した。(10.09.13)

A2G0900041⇒A2G08-360

・過去4年間の経済産業省 製品事故判定第三者委員会の調査結果等を反映した。また、これに合わせ重複データのチェックを行った(10.11.05)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故